



令和5年版

# UR都市機構（保全工事共通仕様書）

適格材料ガイド 2024年4月

**NISSHIN**

## CONTENTS

適用仕様について	4-5 頁
2 節 屋根露出防水部分修繕工事	6-7 頁
3 節 屋根外断熱等部分修繕工事	8-11 頁
4 節 屋根外断熱露出防水工事	12-17 頁
5 節 脱気絶縁複合防水工事（歩行用・軽歩行用）	18-21 頁
6 節 脱気絶縁複合防水工事（非歩行用）	22-23 頁
7 節 バルコニー等床防水工事	24-26 頁
8 節 屋上架台・庇等防水工事	27-28 頁
11 節 勾配屋根改修工事	29-33 頁
材料一覧	34-38 頁

### 令和 2 年版からの主な変更点（採用工法のみ、詳細は保全工事共通仕様書・仕様登録集をご確認ください。）

- 【2 節】 2.2.2 2 下地処理 (1) のハ メンテモルタル記述部が「製造所が指定する下地調整材」に変更
- 【2 節、3 節、4 節、6 節】 ゴムアスファルト系シール材 ⇒ **アスファルト防水工用シール材** に用語変更
- 【2 節、3 節、4 節、11 節】 工程表内、「アスファルト活性剤又はポリマーセメント系下地調整材」⇒ **アスファルト活性剤** に変更
- 【3 節】 2.3.3 表（ゴムアスファルト系シール材の品質） 削除 ⇒ **製造所の仕様による** に変更 ※以下表番号繰り上がり  
改修用ドレンの材質「鉛」⇒「銅」に変更【仕様登録集】
- 【3 節、4 節、6 節】 工程表内、「常温工法用アスファルトコンパウンド」の欄、削除
- 【4 節】 2.4.2 2 下地処理(3)のニ ②**アゴ下端部に製造所が規定する水切りテープを設置する。** 追記  
2.4.2 3 材料のイ **建築物省エネ法**に関する記述 追記  
2.4.2 4 工法 ロ 施工①増張り ポリマーセメント系下地調整材 ⇒ **速乾性プライマー** に変更  
2.4.5 表下（注） **立上り 150 mmに満たない場合の規定** 追記  
2.4.2 4 工法 ロ 施工②断熱部（平場）の施工 **脱気装置の設置に関する記述** 追記  
改質アスファルトルーフィング類の品質 I 類に適合 ⇒ **I 類又は II 類**に適合 に変更【仕様登録集】  
マンホール廻り ウレタン塗膜防水 ⇒ **改質アスファルト系塗膜防水** に変更【仕様登録集 納まり図】
- 【5 節】 工程表内 接着剤・プライマー・保護塗料の塗布量欄、「以上」削除  
脱気装置 設置間隔 70 m から 100 m ⇒ **25 m から 100 m** に変更  
2.5.3 3 下地調査(3) **密着部の付着試験を行い、付着強度が 0.5 N/mm<sup>2</sup>以上であることを確認する。** に変更  
通気緩衝シート（ポリマー改質アスファルトシート）の品質 「厚さ」「伸び率」の規定 削除【仕様登録集】  
クロス ⇒ **補強布** に変更【仕様登録集納まり図】
- 【5 節、7 節】 硬化物密度 1.0Mg/m<sup>3</sup> ⇒ **硬化物比重 1.0** に変更
- 【6 節】 通気絶縁用シート ⇒ **部分粘着型通気絶縁用シート** に用語変更  
目地補強用シート ⇒ **目地補強用テープ** に用語変更  
2.6.2 2 工法 ロ 施工 ①脱気絶縁部 e  
**仕上げ色はシルバーを標準とし、カラー仕上げ又は遮熱塗装等を用いる場合は特記による。** 追記  
改質アスファルトルーフィング類の品質 I 類に適合 ⇒ **I 類又は II 類**に適合 に変更【仕様登録集】
- 【7 節】 2.7.2 3 材料 試験施工に関する記述 削除 補強布に関する記述 追記  
クロス等補強材 ⇒ **補強布** に用語変更  
塗継ぎの重ね幅、補強布の重ね幅 追記  
平場、防滑仕上げ 明記  
クロス ⇒ **補強布** に変更【仕様登録集納まり図】  
試験施工時の現場確認判定項目表 追記【仕様登録集】
- 【8 節】 **改質アスファルト系塗膜防水工法** 追記 材料・工法は、仕様登録集による。
- 【11 節】 2.11.1 表 工法種別の選定基準 ⇒ **付着力試験の判定基準** に変更 内容も一部変更  
改質アスファルトルーフィング類の品質 I 類に適合 ⇒ **I 類又は II 類**に適合 に変更【仕様登録集】

### 設計図書の優先順位

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| ①追加説明事項及び質疑応答書 | ⑦機材及び工法の品質判定基準、仕様登録集 |
| ②現場説明書         | ⑧都市再生機構工事特記基準        |
| ③特記仕様書         | ⑨機材の品質判定基準           |
| ④共通設計図以外の設計図   | ⑩基盤整備工事共通仕様書         |
| ⑤共通設計図（各種詳細図集） | ⑪公共住宅建設工事共通仕様書       |
| ⑥保全工事共通仕様書     | ⑫公共住宅建設工事機材の品質・性能基準  |

保全工事共通仕様書 3頁 1.1.3「設計図書の適用より抜粋」

### 提出書類

2節・3節・8節（改質アスファルト系塗膜防水工法）の場合

仕様登録集

登録集の頁数の報告

4節～11節の場合

機材及び工法の品質判定基準

品質性能試験報告書

弊社が第三者機関に性能評価を受けた書類  
→上記情報を「品質確認報告書」に記入

品質確認報告書

機材及び工法の品質判定基準に記載の書式を元に  
元請会社がURに提出

## 2節～4節の適用仕様（屋根外断熱露出防水等の修繕区分と適用仕様）

修繕工法		現況	露出アスファルト防水 常温工法	外断熱工法			外断熱露出 アスファルト工 法	適用仕様	頁数	
				アスファルト防 水常温工法 (非断熱)	コンクリート ブロック工法	アスファルト 成形板工法				
全面修繕	外断熱露出アスファルト 防水工法 (全面修繕 1 回目)	かぶせ 方式	○	○	○(注)	○(注)	-	2.4.1	12	
		撤去 方式	○	○	-	-	-	2.4.2	12	
	外断熱加硫ゴム系ルー フィングシート防水工法 (全面修繕 1 回目)	かぶせ 方式	○	○	○(注)	○(注)	-	2.4.1		
		撤去 方式	○	○	-	-	-	2.4.5		
部分修繕	非断熱部	アスファルト防水 常温工法(P 型)	かぶせ 方式	○	-	-	-	2.2.1	6	
			撤去 方式	○	-	-	-	2.2.2	6	
	アスファルト防水 常温工法(非断熱部)	かぶせ 方式	-	○	-	-	-	2.3.1	9	
		撤去 方式	-	○	-	-	-	2.3.2	9	
	外断熱アスファルト 防水工法 (非断熱部分修繕)	かぶせ 方式	-	-	-	-	○	2.4.1	14	
		撤去 方式	-	-	-	-	○	2.4.3	14	
	断熱部	コンクリートブロック工法		-	-	○	-	-	2.3.1 2.3.3	
		アスファルト成形板工法		-	-	-	○	-	2.3.1 2.3.4	10
		外断熱アスファルト 防水工法 (断熱部分修繕)	かぶせ 方式	-	-	-	-	○	2.4.1	14
			撤去 方式	-	-	-	-	○	2.4.4	14

(注) 防水層より上の断熱部分を撤去し、既存の防水層は存置する。

## 5節～6節の適用仕様（脱気絶縁複合防水の修繕区分と適用仕様）

修繕工法		現況	アスファルト 防水のうえ 断熱層、保護 コンクリート	歩行用・軽歩行用		適用仕様	頁数	
				歩行用 ウレタンゴム系 塗膜防水工法	歩行用ポリマー セメント系 塗膜防水工法			
全面修繕	歩行用・軽歩行用	歩行用ウレタンゴム系塗膜防水工法 (全面修繕 1 回目)(全面修繕 2 回目以降)	かぶせ方式	○	○	2.5.1	18・20	
			撤去方式	-	○(注)	○(注)	2.5.2 2.5.3	18・20
		歩行用ポリマーセメント系塗膜防水工法 (全面修繕 1 回目)(全面修繕 2 回目以降)	かぶせ方式	○	○	○	2.5.1 2.5.5	
			撤去方式	-	○(注)	○(注)	2.5.6	
	軽歩行用加硫ゴム系ルー フィングシート防水工法 (全面修繕 1 回目)	かぶせ方式	○	-	-	2.5.1		
		撤去方式	-	-	-	2.5.8		
	非歩行用	非歩行用改質アスファルト防水工法 (全面修繕 1 回目)	かぶせ方式	○	-	-	2.6.1	22
			撤去方式	-	-	-	2.6.2	22
非軽歩行用加硫ゴム系ルー フィングシート防水工法 (全面修繕 1 回目)		かぶせ方式	○	-	-	2.6.1		
		撤去方式	-	-	-	2.6.3		
部分修繕	歩行用・軽歩行用	歩行用ウレタンゴム系塗膜防水工法 (部分修繕)	かぶせ方式	-	○	-	2.5.1	18
			撤去方式	-	○(注)	-	2.5.4	18
	歩行用ポリマーセメント系塗膜防水工法 (部分修繕)	かぶせ方式	-	-	○	2.5.1		
		撤去方式	-	-	○(注)	2.5.7		

(注) 撤去は保護コンクリート上部の防水層とし、保護コンクリートは存置する。

### 7節～10節、12節の適用仕様（塗膜防水等の修繕区分と適用仕様）

修繕工法		現況	モルタル塗り、 コンクリート 素地等	タイル張り等	ウレタンゴム系 塗膜防水工 法	ポリマーセメン ト系塗膜防 水工法	超速硬化ウレ タン吹付工法	適用仕様	頁数
バルコニー床・共 用廊下排水溝	ウレタンゴム系 塗膜防水工法	○	-	○	○	-	2.7.1 2.7.2 2.7.3 2.7.4	24	
	ポリマーセメント系 塗膜防水工法	○	-	○	○	-	2.7.1 2.7.5 2.7.6 2.7.7		
屋上架台・庇等	ウレタンゴム系 塗膜防水工法	○	-	○	○	-	2.8.1 2.8.2	27	
	ポリマーセメント系 塗膜防水工法	○	-	○	○	-	2.8.1 2.8.3		
	改質アスファルト系 塗膜防水工法	○	-	○	○	-	2.8.1 2.8.4	28	
トレンチピット等	ウレタンゴム系 塗膜防水工法	○	-	○	○	-	2.9.1 2.9.2		
	ポリマーセメント系 塗膜防水工法	○	-	○	○	-	2.9.1 2.9.3		
階段室床	超速硬化ウレタン吹付工法	○	-	-	-	○	2.10.1 2.10.2 2.10.3 2.10.4		
浴室	FRPシート防水 (紫外線硬化型)	○	○	-	-	-	2.12.1 2.12.2		
	FRP塗膜防水 (2液硬化型ポリエステル 樹脂ノンスチレン型)	○	○	-	-	-	2.12.1 2.12.3		
	硬質ウレタン塗膜防水	○	○	-	-	-	2.12.1 2.12.4		

### 11節の適用仕様（勾配屋根改修の修繕区分と適用仕様）

修繕工法		現況	シングル	スレート (平形)	適用仕様	頁数
かぶせ方式	既存シングル改修工法 (改質アスファルトシート防水)	○	-	○	2.11.1 2.11.2	29
	既存スレート(平形)改修工法 (改修用金属屋根材)	-	○	○	2.11.1 2.11.3	

## 2 節 屋根露出防水部分修繕工事

### 2.2.2 アスファルト防水常温工法（P 型）

材料・工法・施工は「仕様登録集」による。

2.2.1 表 アスファルト防水常温工法（P 型）の工程

工程	材料	使用量/㎡	工法	種別(○印は適用する工程)	
				かぶせ方式	撤去方式
1	速乾性アスファルトプライマー	0.2 kg	はけ塗り又はローラー塗り	—	○
2	アスファルト活性剤	1.2 kg(1.0 kg) (注)1	はけ塗り又はゴムベラ塗り	○	—
3	常温工法用アスファルトコンパウンド	1.2 kg	はけ塗り又はゴムベラ塗り	—	○
4	常温工法用アスファルトコンパウンド	1.5 kg	はけ塗り又はゴムベラ塗り	○	—
5	改質アスファルトルーフィング (注)2、3	—	ローラー等にてシートを押え 下地に十分密着させる。	○	○

(注) 1 工程 2 の ( ) 内の数値は既存防水層がアスファルト常温工法の場合に適用する。

2 工程 5 の溶着型（トーチ工法）、自己接着型（自着工法）を使用する場合は、工程 3 及び工程 4 を省略する。

3 工程 5 に複合工法を使用する場合は、工程 2 を省略する。

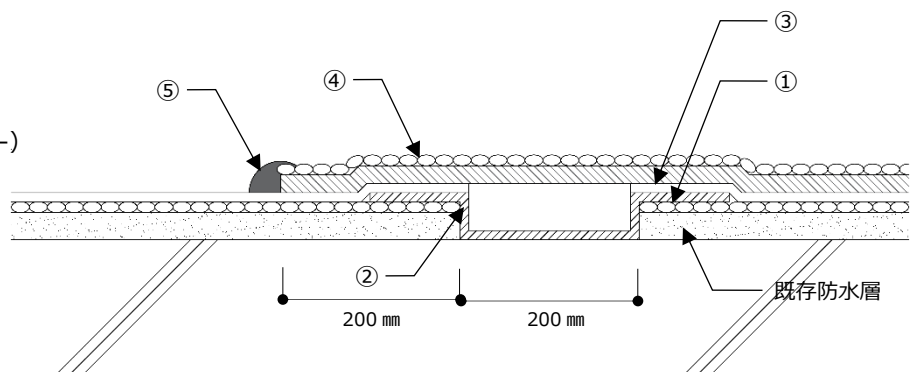
### 屋根防水等部分修繕

絶縁帯がある場合		
工程	材料名	使用量/㎡
1	マルエスシーラー	1.2 kg
2	カスタムサンド UF	—
3	絶縁帯 プライマー-AQ/アスファルト トプライマー	0.2 kg
4		EE ルーフ BF テープ

絶縁帯がない場合		
工程	材料名	使用量/㎡
1	マルエスシーラー	1.2 kg
2	カスタムサンド UF	—

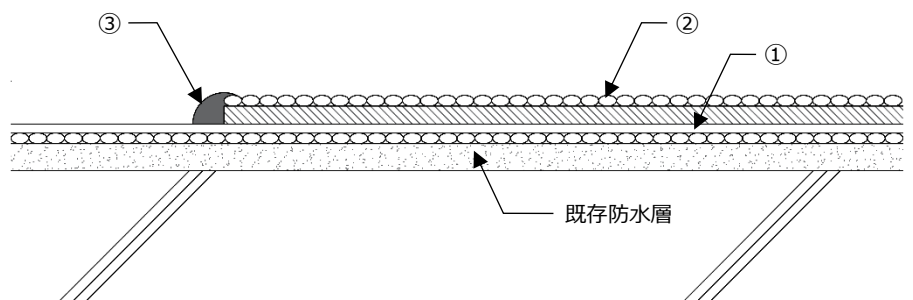
#### 絶縁帯がある場合

- ①プライマー-AQ（又はアスファルトプライマー）
- ②EE ルーフ BF テープ
- ③マルエスシーラー
- ④カスタムサンド UF
- ⑤カスタムコーティング S



#### 絶縁帯がない場合

- ①マルエスシーラー
- ②カスタムサンド UF
- ③カスタムコーティング S

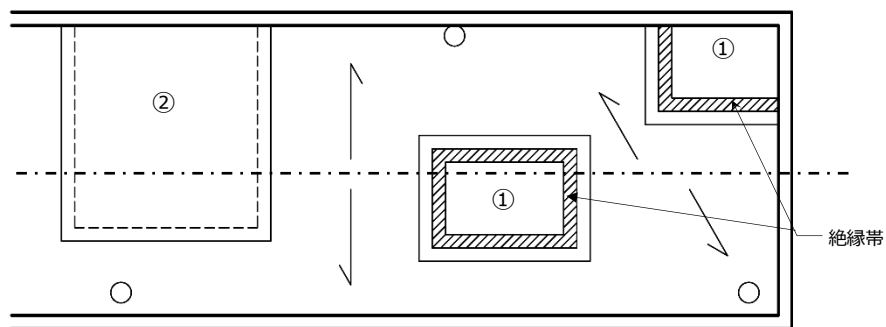


仕様登録集 341 頁には「絶縁帯がある場合」②が「メルタンテープ」と記載されていますが、上記の様に「EE ルーフ BF テープ」に変更しております。

## 使用材料名

材料名	規格	荷姿	用途・材質
プライマー-AQ	16 kg/缶入	缶	アスファルト系（水性）プライマー
アスファルトプライマー	15 kg/缶入	缶	アスファルト系（溶剤系）プライマー
マルエスシーラー	20 kg/缶入	缶	改質アスファルト系（溶剤）下地活性化材
カスタムサンド UF	1m×8m	巻	片面自着型改質砂付アスファルトルーフィング
EE ルーフ BF テープ	0.2m×12m 2巻入	箱	片面自着型改質アスファルト増張り用ルーフィング（絶縁帯用）
SK ルーフ BF テープ	0.2m×12m 2巻入	箱	片面自着型改質アスファルト増張り用ルーフィング（ドレン部用）
カスタムコーチング S	22 kg/缶入	缶	ゴムアスファルト系シール材
	11 kg/缶入	缶	
	330mLカートリッジ×24本/箱	箱	

## 絶縁帯設置図（例）



## 標準仕様

保共仕 2.2.2 による他、次による。

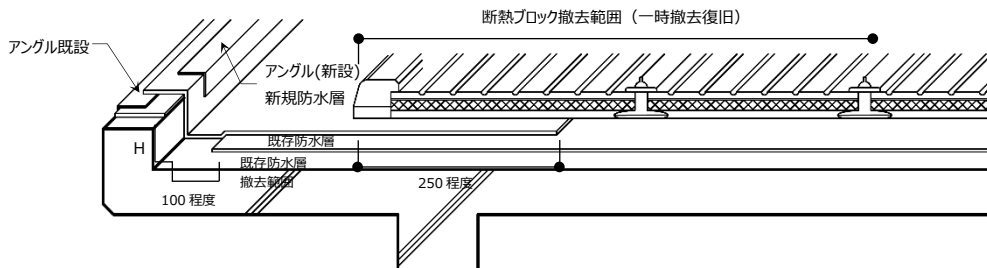
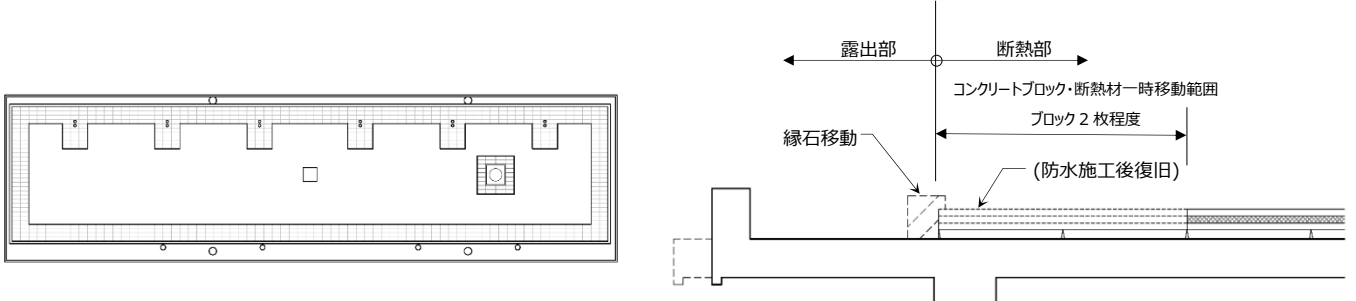
- (1) 防水施工に先立ち、下地処理をする。
- (2) 絶縁帯設置図（例）において、「かぶせ方式」による施工例を示す。
  - ① 絶縁帯部：棟を跨ぐ場合又は勾配で水を受ける部位に絶縁帯を設ける。
  - ② 一般部：棟を跨ぎ、かつ立上り部までは補修範囲がある場合は一般部とする。
- (3) この仕様の工法・工程は既存防水層を撤去する場合にも適応する。
- (4) その他詳細は、製造所別の仕様登録による。

### 3 節 屋根外断熱等部分修繕工事

#### 2.3.1 一般事項 仕上材の移動・撤去範囲

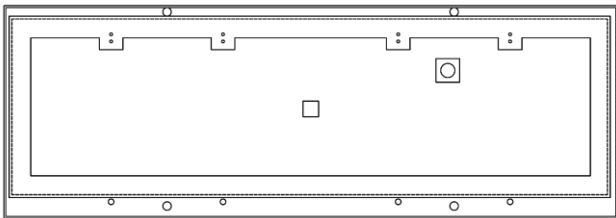
##### (1) コンクリートブロック工法

コンクリートブロック、断熱材一時移動、防水施工終了後、施工前の位置に取付、復旧。

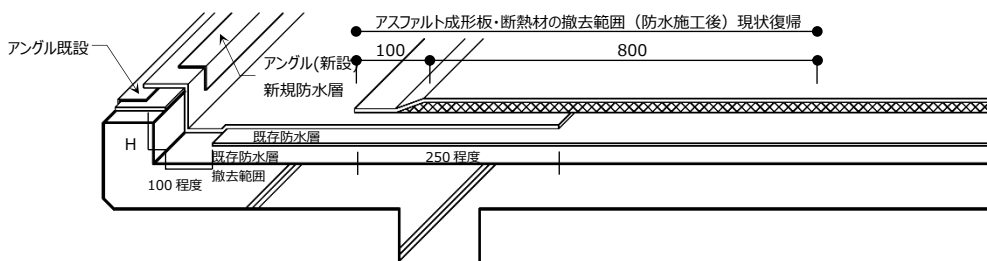
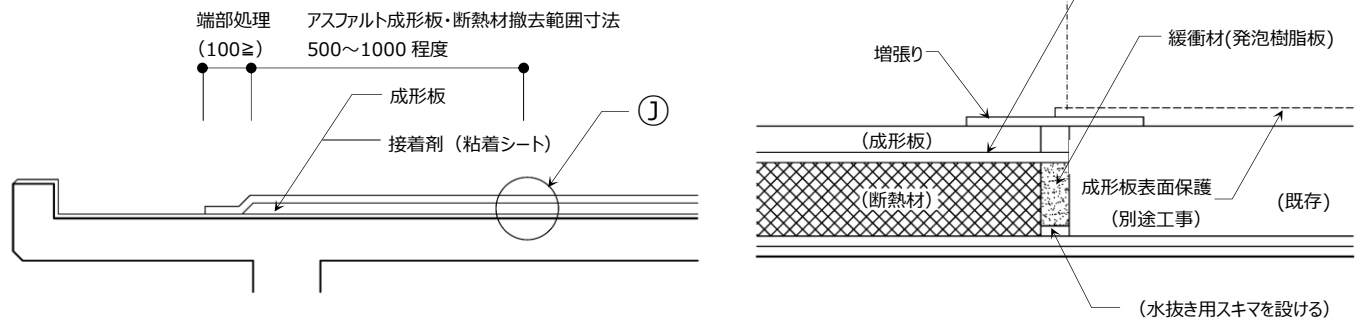


##### (2) 成形板工法

成形板・断熱材を撤去、防水施工終了後、新規材料を使用して施工前の位置に復旧。



#### ① 詳細





## 2.3.2 アスファルト防水常温工法（非断熱部）

材料・工法・施工は「仕様登録集」による。

2.3.3 表 非断熱部の工程

工程	材料	使用量/㎡	工法	種別
1	速乾性アスファルトプライマー (注)1、3	0.2 kg	はけ塗り又はローラー塗り	撤去方式
2	アスファルト活性剤(注)2	1.2 kg(1.0 kg) (注)2	はけ塗り又はゴムベラ塗り	かぶせ方式
3	改質アスファルトルーフィング	—	ローラー等にてシートを押え 下地に十分密着させる。	—
4	仕上塗料	製造所の仕様による	はけ塗り又はローラー塗り	—

2.3.4 表 非断熱部と隣接する断熱部の工程

工程	材料	使用量/㎡	工法	種別
1	速乾性アスファルトプライマー (注)1、3	0.2 kg	はけ塗り又はローラー塗り	撤去方式
2	アスファルト活性剤(注)2	1.2 kg(1.0 kg) (注)2	はけ塗り又はゴムベラ塗り	かぶせ方式
3	改質アスファルトルーフィング	—	ローラー等にてシートを押え 下地に十分密着させる。	—

(注) 1 既存防水層を撤去した箇所は、工程 1 の速乾性アスファルトプライマーを塗布する。

2 「かぶせ方式」による場合、工程 1 は省略する。なお、既存防水層がアスファルト防水常温工法の場合、工程 2 の使用量は（ ）に示す。

3 非断熱部で既存塗膜防水層がある場合は、工程 1 を層間プライマーとし、品質及び使用量は「仕様登録集」による。

## 屋根防水全面修繕（非断熱）

防水修繕の工程（かぶせ方式）		
工程	品名	使用量
1	マルエスシーラー	1.2 kg
2	メルタンキャップ 21F	—
3	カスタムコーチング S	—
4	プレノカラー遮熱	0.5 kg

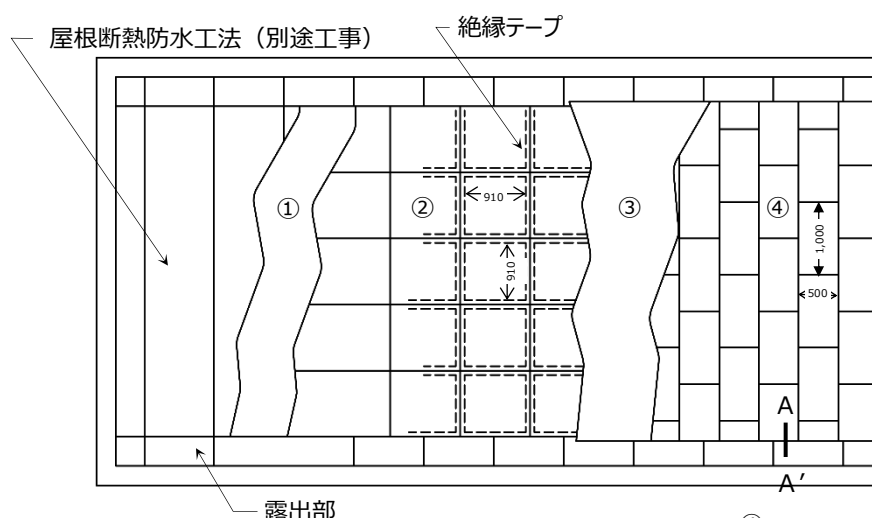
防水修繕の工程（撤去方式）		
工程	品名	使用量
1	アスファルトプライマー (又はプライマーAQ)	0.2 kg
2	メルタンキャップ 21F	—
3	カスタムコーチング S	—
4	プレノカラー遮熱	0.5 kg

成形板表面補強部の工程		
工程	品名	使用量
1	マルエスシーラー	1.2 kg
2	カスタムサンド UF	—
3	カスタムコーチング S	—
4	プレノカラー遮熱	0.5 kg

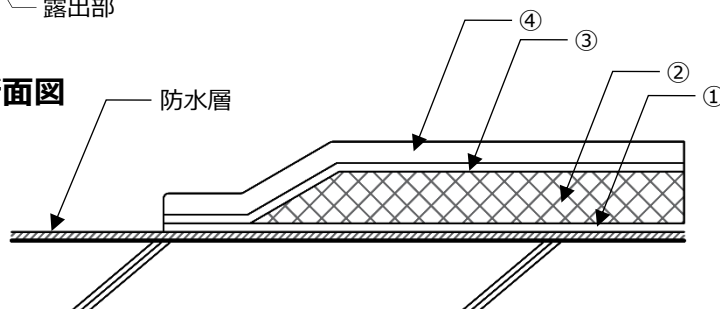
### 2.3.4 アスファルト成形板工法

材料・工法・施工は「仕様登録集」による。

アスファルト成形板工法			
工程	用途	材料名	使用量/m <sup>2</sup>
1	接着剤	US ボンド A	1.8 kg 以上
2	断熱材	BK ボード E	-
3	接着剤	US ボンド A	1.5 kg 以上
4	成形板	トップタイト	-
5	端末処理	カスタムコーチング S	-

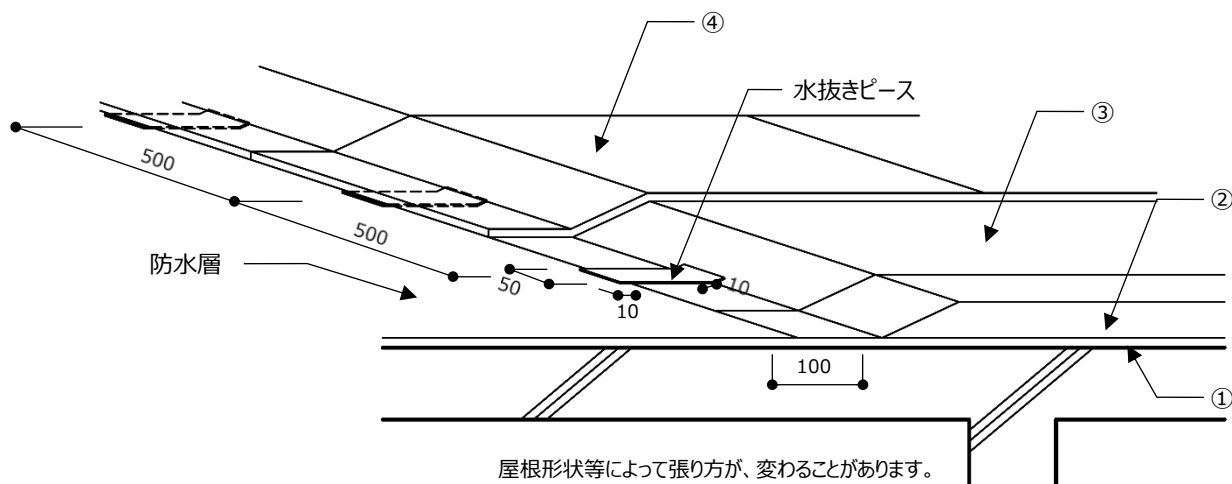


A-A' 断面図



- ① US ボンド A
- ② BK ボード E
- ③ US ボンド A
- ④ トップタイト

端末断面図



## 使用材料名

製品名	規格	荷姿	用途・材質
アスファルトプライマー	15 kg／缶入	缶	アスファルト系（溶剤）プライマー
プライマーAQ	16 kg／缶入	缶	アスファルト系（水性）プライマー
マルエスシーラー	20 kg／缶入	缶	アスファルト系（溶剤）下地活性化材
US ボンド A	20 kg／缶入	缶	1 液型アスファルト系接着剤
	10 kg／缶入	缶	
	330mL カートリッジ×24 本／箱	箱	
メルタン 21A	1m×8m／巻	巻	増張り用改質アスファルトルーフィング
メルタンキャップ 21F	1m×8m／巻	巻	改質アスファルトルーフィング JIS A 6013 露出単層用
カスタムサンド UF	1m×8m／巻	巻	改質アスファルトルーフィング JIS A 6013 露出単層用
カスタムコーチング S	22 kg／缶入	缶	ゴムアスファルト系シール材
	11 kg／缶入	缶	
	330mL カートリッジ×24 本／箱	箱	
BK ボード E	910 mm×910 mm t=25 mm	枚	ポリスチレン系断熱材
絶縁テープ	50 mm幅	巻	クラフト紙の粘着テープ
トップタイト	0.5m×1m t=6.0 mm	枚	アスファルト成形板（赤・緑・チョコ色）
プレノカラー遮熱	16.3 kg／缶入	缶	水性カラー遮熱塗料
MT-40DS	40 mm×70 mm×2m t=2.0 mm	本	アルミ製防水押え金物（天端用）
セレタック S	20 kg／袋	袋	セメント系粉体
	14 kg／缶	缶	樹脂系混和液
アスファルトルーフィング 1500	1m×16m／巻	巻	水抜きピース用
共砂	5 kg／袋	袋	成形板表面と同じカラー砕石

## 4節 屋根外断熱露出防水工事

### 2.4.2 外断熱露出アスファルト防水工法（全面修繕 1 回目）

材料・工法は「機材及び工法の品質判定基準」による。（品質性能試験報告書の提出が必要）

2.4.1 表 断熱部（平場）既存防水層の下地処理工程

工程	材料	使用量/㎡	かぶせ方式	撤去方式	工法
1	不陸調整	-	○	-	2.2.2 の 2 (1) ハによる。
			-	○	2.2.2 の 2 (1) ニによる。
2	アスファルト活性化剤	1.0 kg	○	-	はけ塗り又はゴムペラ塗り
3	速乾性プライマー	0.2 kg	-	○	はけ塗り又はローラー塗り
4	増張り用シート	-	-	○	-

2.4.2 表 断熱部（平場）の工程

工程	材料	使用量/㎡	工法
1	接着剤(注)1	-	はけ塗り又はクシ目バケ
	粘着材（部分粘着型シート、粘着層付テープ状シート、粘着層付レバラー材等）	-	ローラーで押え圧着又はバーナーで溶着
2	硬質ウレタンフォーム(注)2	-	接着剤又は圧着
3	断熱材張り継ぎ部補強用テープ W≥50 mm	-	-
4	部分粘着型通気絶縁用シート	-	自着層で圧着
5	改質アスファルトルーフィング (露出単層防水用)	-	トーチバーナーで溶着又は自着層で圧着
6	仕上塗料	製造所の仕様による	はけ塗り又はローラー塗り

(注) 1 工程 1 の接着剤は、部分接着（点張り）又は全面接着により、種別は、製造所の仕様による。

2 工程 2 の硬質ウレタンフォームの厚さは特記による。

2.4.3 表 断熱部及び非断熱部（立上り部）の工程

工程	材料	使用量/㎡	工法
1	速乾性プライマー	0.2 kg	はけ塗り又はローラー塗り
2	増張り用シート	-	トーチバーナーで溶着又は自着層で圧着
3	改質アスファルトルーフィング (露出単層防水用)	-	
4	アスファルト防水工用シール材、押え金物	-	-
5	仕上塗料	製造所の仕様による	はけ塗り又はローラー塗り

2.4.4 表 非断熱部（平場）の工程

工程	材料	使用量/㎡	かぶせ方式	撤去方式	工法
1	アスファルト活性剤	1.0 kg	○	-	はけ塗り又はゴムベラ塗り
	速乾性プライマー	0.2 kg	-	○	はけ塗り又はローラー塗り
2	増張り用シート(注)1	-	○	○	トーチバーナーで溶着又は自着層で圧着
3	部分粘着層付通気絶縁シート(水抜きシートを設置する場合)(注)2	-	○	○	自着層で圧着
4	改修用ドレン(注)3	-	○	○	-
5	改質アスファルトルーフィング(露出単層防水用)(注)4	-	○	○	トーチバーナーで溶着又は自着層で圧着
6	仕上塗料	製造所の仕様による	○	○	はけ塗り又はローラー塗り

- (注) 1 工程 2 は、「かぶせ方式」の場合により、取付け範囲は 2.4.2 の 4 口①による。  
 2 工程 3 は、水抜きシートを設置する場合に適用する。(16 頁参照)  
 3 工程 4 は、既存ドレンに取り付ける。なお、水抜きシート等を設置する場合は特記による。  
 4 工程 5 は、断熱部（平場）防水層に接続する。

**外断熱露出アスファルト防水工法（かぶせ工法）**

断熱部			非断熱部			立上り部		
工程	品名	使用量	工程	品名	使用量	工程	品名	使用量
1	マルエスシーラー	1.0 kg	1	マルエスシーラー	1.0 kg	1	アスファルトプライマー*	0.2 kg
2	シングルセメント	0.5 kg		SK ルーフ BF	増張り		SK ルーフ BF	増張り
3	シエンボード	-		SK ルーフ BS	水抜き時	2	メルタンキャップ 21F	-
4	I テープ※1	-		改修用ドレン※2	ドレン	3	仕上塗料※3	
5	SK ルーフ BS	-	2	メルタンキャップ 21F	-	4	-	-
6	メルタンキャップ 21F	-	3	仕上塗料※3		5	-	-
7	仕上塗料※3		4	-	-	6	-	-

**外断熱露出アスファルト防水工法（撤去工法）**

断熱部			非断熱部			立上り部		
工程	品名	使用量	工程	品名	使用量	工程	品名	使用量
1	アスファルトプライマー*	0.2 kg	1	アスファルトプライマー*	0.2 kg	1	アスファルトプライマー*	0.2 kg
2	シングルセメント	0.5 kg		SK ルーフ BF	増張り		SK ルーフ BF	増張り
3	シエンボード	-		SK ルーフ BS	水抜き時	2	メルタンキャップ 21F	-
4	I テープ※1	-		改修用ドレン※2	ドレン	3	仕上塗料※3	
5	SK ルーフ BS	-	2	メルタンキャップ 21F	-	4	-	-
6	メルタンキャップ 21F	-	3	仕上塗料※3		5	-	-
7	仕上塗料※3		4	-	-	6	-	-

- ※1 受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。  
 ※2 水抜きシート等（SK ルーフ BS を使用）を設置する場合は特記による。(16 頁参照)  
 ※3 仕上塗料は下記よりご選定ください。  
 \* アスファルトプライマーに替えて、プライマーAQ を使用することもできます。

**【仕上塗料一覧】**

製品名称	種類	塗布量の目安	塗替えの目安
プレノカラー遮熱	カラー遮熱	0.5 kg/㎡	7～9 年
サーモロックカラー MB *	暗色系カラー遮熱	0.5 kg/㎡	7～9 年
F Pクール*	飛び火抑制・遮熱	0.8 kg/㎡	10～13 年
ハイクール	高耐候性遮熱	0.5 kg/㎡	10～13 年

\* 受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

### 2.4.3 外断熱露出アスファルト防水工法（非断熱部分修繕）

6 頁 2.2.2（アスファルト防水常温工法（P 型））による。

材料は 2.2.2 の 3 工法は 2.2.2 の 4 による。  
 （6-7 頁参照）

### 2.4.4 外断熱露出アスファルト防水工法（断熱部分修繕）

2.4.6 表 既存防水層（断熱材を含む）撤去部の範囲の工程

材料は「機材及び工法の品質判定基準」及び  
 2.4.2 の 3 による。

工程	材料	使用量/㎡	工法
1	接着剤(注)1	-	はけ塗り又はクシ目バケ
	粘着材（部分粘着型シート、粘着層付テープ状シート、粘着層付レバラー材等）	-	ローラーで押え圧着又はバーナーで溶着
2	硬質ウレタンフォーム(注)2	-	接着剤又は圧着
3	断熱材張り継ぎ部補強用テープ W≥50 mm	-	-
4	部分粘着型通気絶縁用シート	-	自着層で圧着
	自己粘着型シート	-	自着層で圧着
5	改質アスファルトルーフィング（露出単層防水用）	-	トーチバーナーで溶着又は自着層で圧着
6	仕上塗料	製造所の仕様による	はけ塗り又はローラー塗り

(注) 1 工程 1 の接着剤は、部分接着（点張り）又は全面接着により、種別は、製造所の仕様による。

2 工程 2 の硬質ウレタンフォームの厚さは既存断熱材と同じ厚さとする。

2.4.7 表 かぶせ部の範囲の工程

工程	材料	使用量/㎡	工法
1	アスファルト活性剤	1.0 kg	はけ塗り又はゴムベラ塗り
2	改質アスファルトルーフィング（露出単層防水用）	-	トーチバーナーで溶着又は自着層で圧着
3	仕上塗料	製造所の仕様による	はけ塗り又はローラー塗り

### 外断熱露出アスファルト防水工法（かぶせ工法）

既存防水層撤去部			かぶせ部		
工程	品名	使用量	工程	品名	使用量
1	シングルセメント	0.5 kg	1	マルエスシーラー	1.0 kg
2	シエンボード	-	2	メルタンキャップ 21F	-
3	I テープ※1	-	3	仕上塗料※3	-
4	SK ルーフ BS・BF※2	-	4	-	-
5	メルタンキャップ 21F	-	5	-	-
6	仕上塗料※3	-	6	-	-

保全工事共通仕様書 46 頁 (2)施工 □ 「取り付けた断熱材の上に下張り用ルーフィング（部分粘着型）を張り付ける。外周の残存する既存防水層とは「突付け張り」とし、接合部は巾 200 mm 幅以上の増張り用シートで張り重ねる。下張り用ルーフィングに自己粘着型を用いて密着工法による場合は、既存防水層に 200 mm 以上張り重ねをする。」

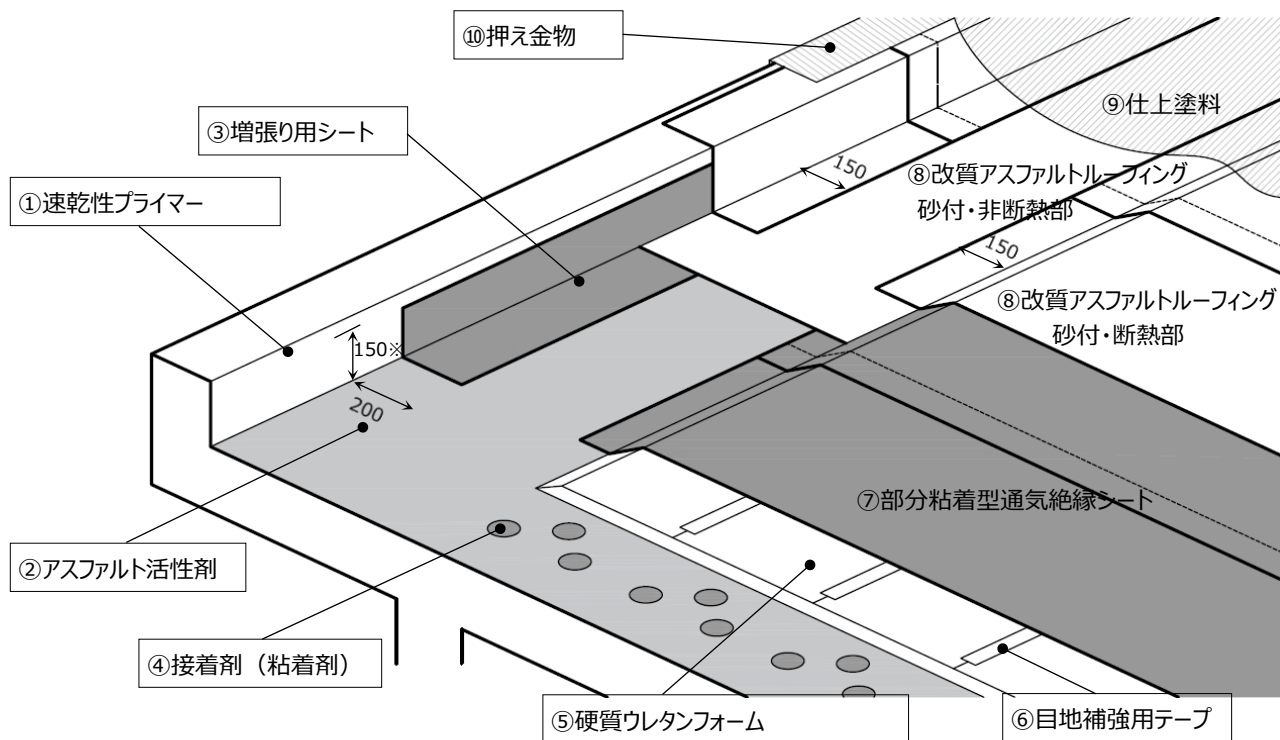
※1 受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

※2 右記説明文参照。 ※3 仕上塗料は下記よりご選定ください。

【仕上塗料一覧】

製品名称	種類	塗布量の目安	塗替えの目安
プレノカラー遮熱	カラー遮熱	0.5 kg/㎡	7～9 年
サーモロックカラー M B *	暗色系カラー遮熱	0.5 kg/㎡	7～9 年
F P クール *	飛び火抑制・遮熱	0.8 kg/㎡	10～13 年
ハイクール	高耐候性遮熱	0.5 kg/㎡	10～13 年

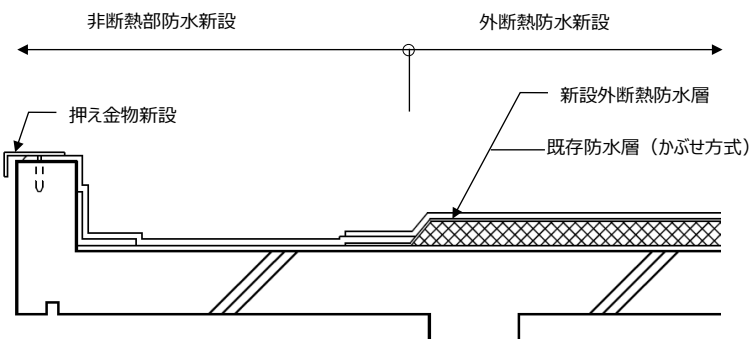
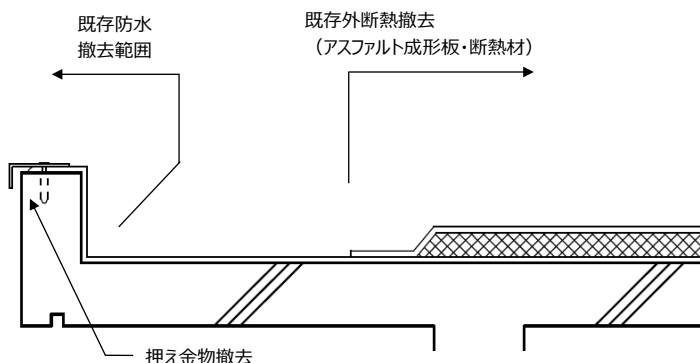
\* 受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。



※150 mmに満たない場合は、天端から20 mm下がりまで張り付ける。

### (現状・撤去) 成形板工法

### 修繕工法



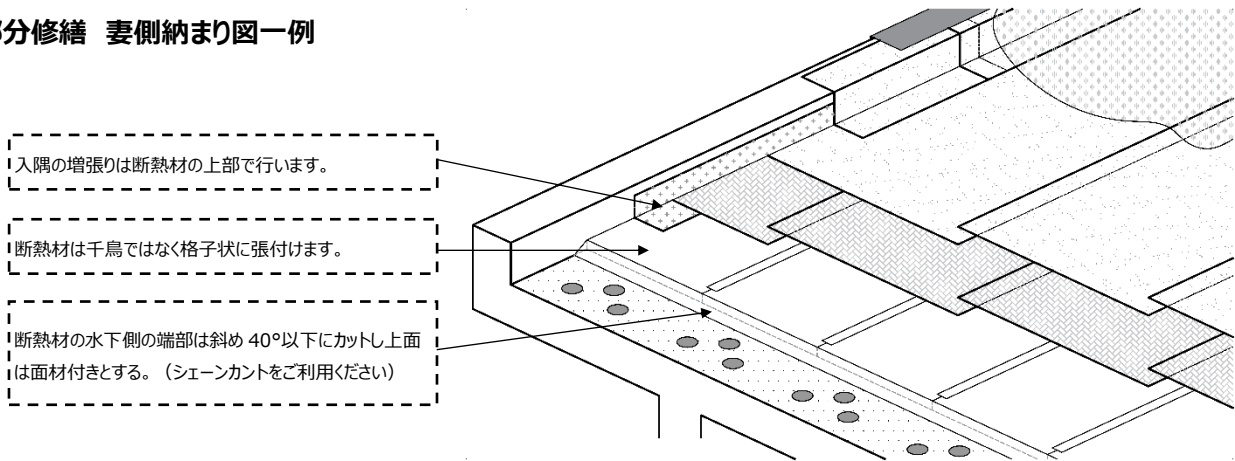
断熱材 (硬質ウレタンフォーム) の厚みは特記による

### 使用材料名

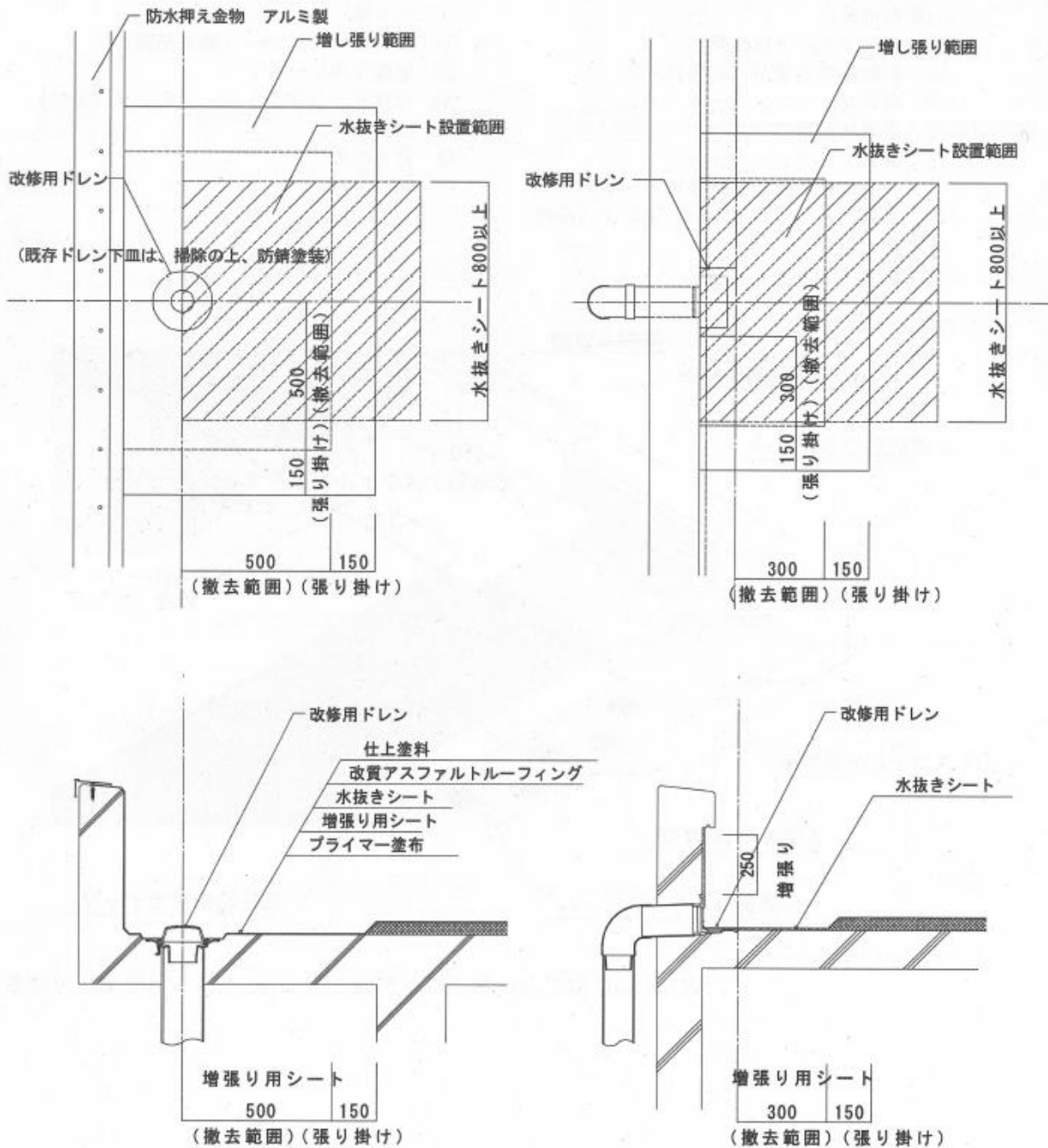
製品名	規格	荷姿	用途・材質
①アスファルトプライマー	15 kg/缶入	缶	アスファルト系 (溶剤) プライマー
プライマーAQ	16 kg/缶入	缶	アスファルト系 (水性) プライマー
②マルエスシーラー	20 kg/缶入	缶	アスファルト系 (溶剤) 下地活性化材
③SK ルーフ BF	1m×12m/巻	巻	増張り用改質アスファルトルーフィング
④シングルセメント	18 kg/缶入	缶	アスファルト系 (溶剤) 接着剤
⑤シェンボード	605 mm×910 mm/枚	枚	硬質ウレタンフォーム断熱材
⑥I テープ	100 mm×16m 3巻/箱	箱	目地補強用テープ (受注生産)
⑦SK ルーフ BS	1m×12m/巻	巻	改質アスファルトルーフィング JIS A 6013 非露出複層用、水抜き用
⑧メルタンキャップ 21F	1m×8m/巻	巻	改質アスファルトルーフィング JIS A 6013 露出単層用
⑨プレノカラー 遮熱	16.3 kg/缶入	缶	水性カラー遮熱塗料
⑨サーモロックカラー MB	16.3 kg/缶入	缶	水性カラー暗色系遮熱塗料 (受注生産)
⑨ F Pクール	18 kg/缶入	缶	水性カラー飛び火抑制・遮熱塗料 (受注生産)
⑨ハイクール	16 kg/缶入	缶	水性カラー高耐候性遮熱塗料
⑩MT-40DS	40 mm×70 mm×2m t=2.0 mm	本	アルミ製防水押え金物 (天端用)
カスタムコーチング S	22 kg 11 kg 330mL×24本	-	ゴムアスファルト系シール材
マルエス銅ドレン	各種規格有り	箱	改修用ドレン



### 断熱部分修繕 妻側納まり図一例

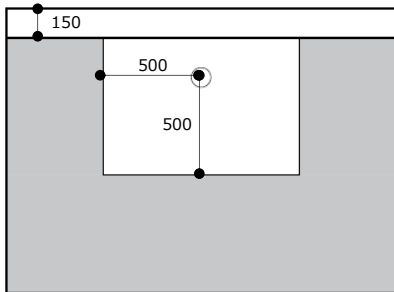


### ドレン廻り



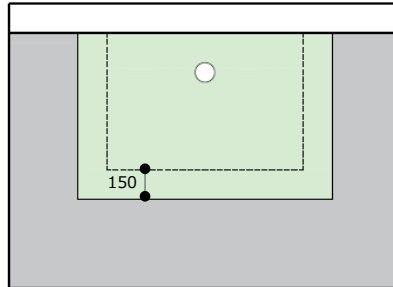


## 水抜きシートについて（標準納まり図（参考図））



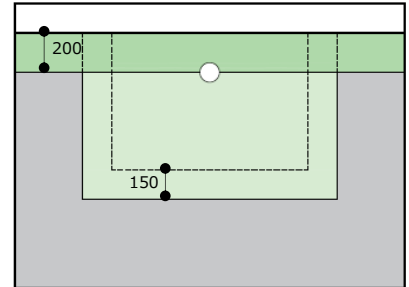
① 既存防水層撤去

ドレンより500 mm程度 撤去



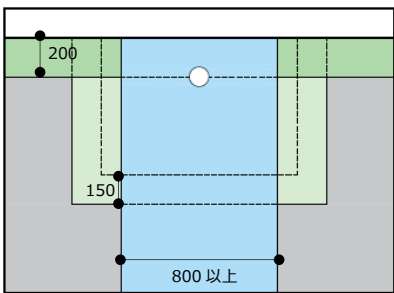
② SKルーフ BF 増張り（ドレン廻り）

撤去部に150 mm以上張り掛ける



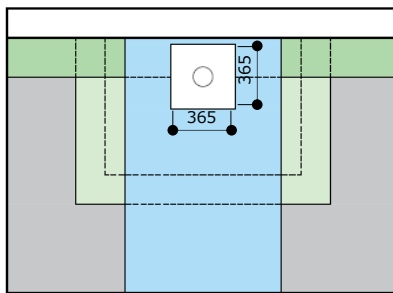
③ SKルーフ BF 増張り（入隅）

平場に200 mm以上張り掛ける



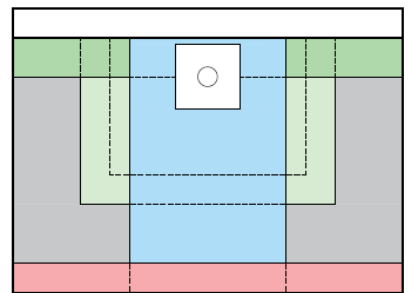
④ 水抜きシート施工（SKルーフ BS）

800 mm幅以上でドレン回りに施工  
※施工範囲は図面特記による



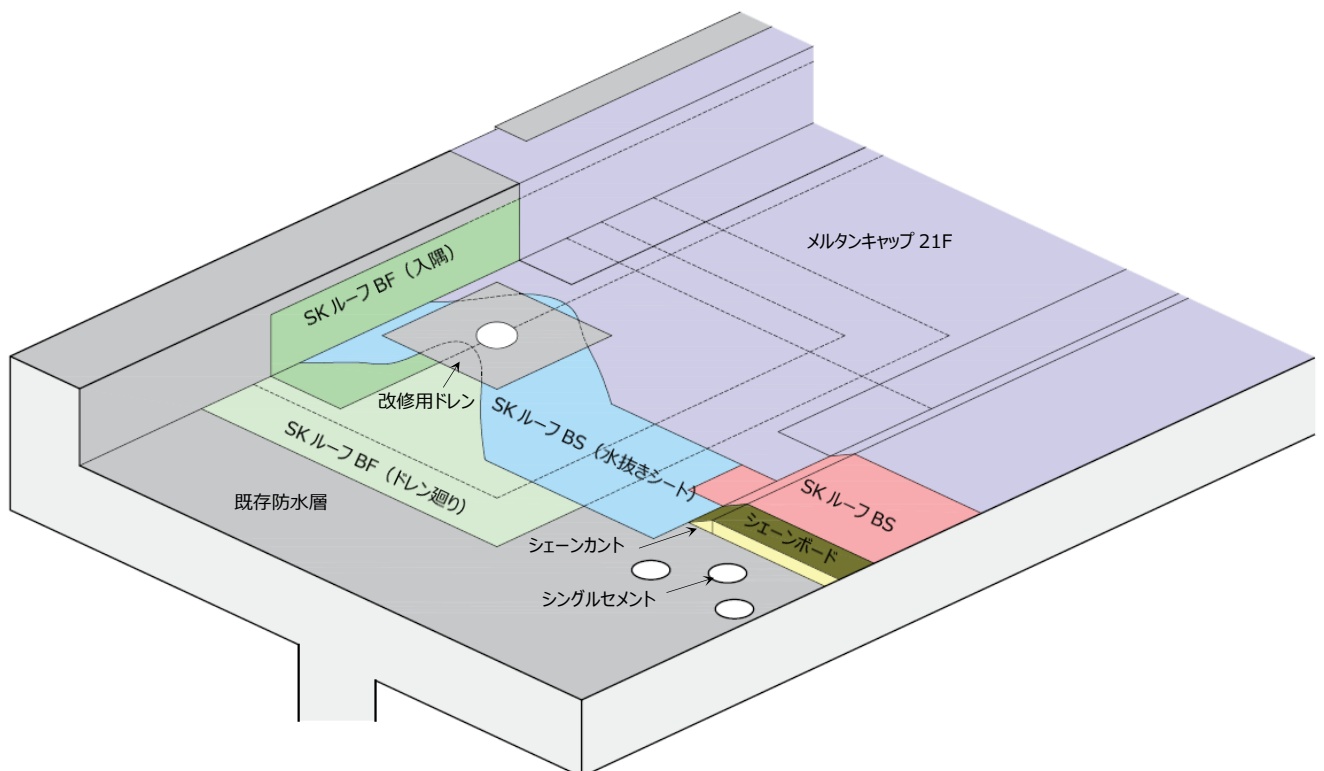
⑤ 改修用ドレン設置

適切な径のドレンを設置する



⑥ 床面のSKルーフ BS 施工

下の納まり図のようにSKルーフ BSを  
施工



## 5 節 脱気絶縁複合防水工事（歩行・軽歩行用）

### 2.5.2 脱気絶縁複合防水（歩行用ウレタンゴム系全面修繕 1 回目）

材料・工法は「機材及び工法の品質判定基準」による。（品質性能試験報告書の提出が必要）

2.5.1 表 脱気絶縁部（平場部）の工程

工程	材料	使用量/㎡	工法
1	接着剤	0.2 kg	くしごて、はけ塗り又はクシ目バケ
	プライマー(注)1	0.15 kg	はけ塗り又はローラー塗り
2	通気緩衝シート(注)1、2、3	—	張付け
3	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)4	1.5 kg	くしごて、金ごて又ははけ塗り
4	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)4	1.5 kg	くしごて、金ごて又ははけ塗り
5	層間プライマー	0.1 kg	はけ塗り又はローラー塗り
6	無機質系防水保護塗料(注)5	1.0 kg	こて塗り、はけ塗り又はローラー塗り

- (注) 1 工程 1 のプライマーは、工程 2 に自己粘着型の通気緩衝シートを使用する場合に用いる。  
 2 工程 2 の通気緩衝シートは、ポリマー改質アスファルトシート又はゴムシートとし、合成繊維不織布を使用する場合は、ウレタンゴム系塗膜防水材の塗布量を 4.5 kg とし、塗膜防水材の塗布工程を 3 工程に分けて塗布する。  
 3 工程 2 の通気緩衝シートは、脱気機能を有するものとする。  
 4 工程 3、4 のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が 1.0 である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以上の場合にあっては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。  
 5 工程 6 の無機質系防水保護塗料は、性状により工程を増やすことができる。

2.5.2 表 庇、架台天端及び立上り部等の工程

工程	材料	使用量/㎡	工法
1	プライマー	0.2 kg	はけ塗り又はローラー塗り
2	ウレタンゴム系塗膜防水材(立上り用) (注)1	0.5 kg	こて、ゴムベラ又ははけ塗り
3	補強布	1.1m	—
4	ウレタンゴム系塗膜防水材(立上り用) (注)1	1.0 kg	こて、ゴムベラ又ははけ塗り
5	ウレタンゴム系塗膜防水材(立上り用) (注)1	1.0 kg	こて、ゴムベラ又ははけ塗り
6	層間プライマー	0.1 kg	はけ塗り又はローラー塗り
7	無機質系防水保護塗料(注)2	1.0 kg	はけ塗り又はローラー塗り

- (注) 1 工程 2、4、5 のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が 1.0 である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以上の場合にあっては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。  
 2 工程 7 の無機質系防水保護塗料は、性状により工程を増やすことができる。

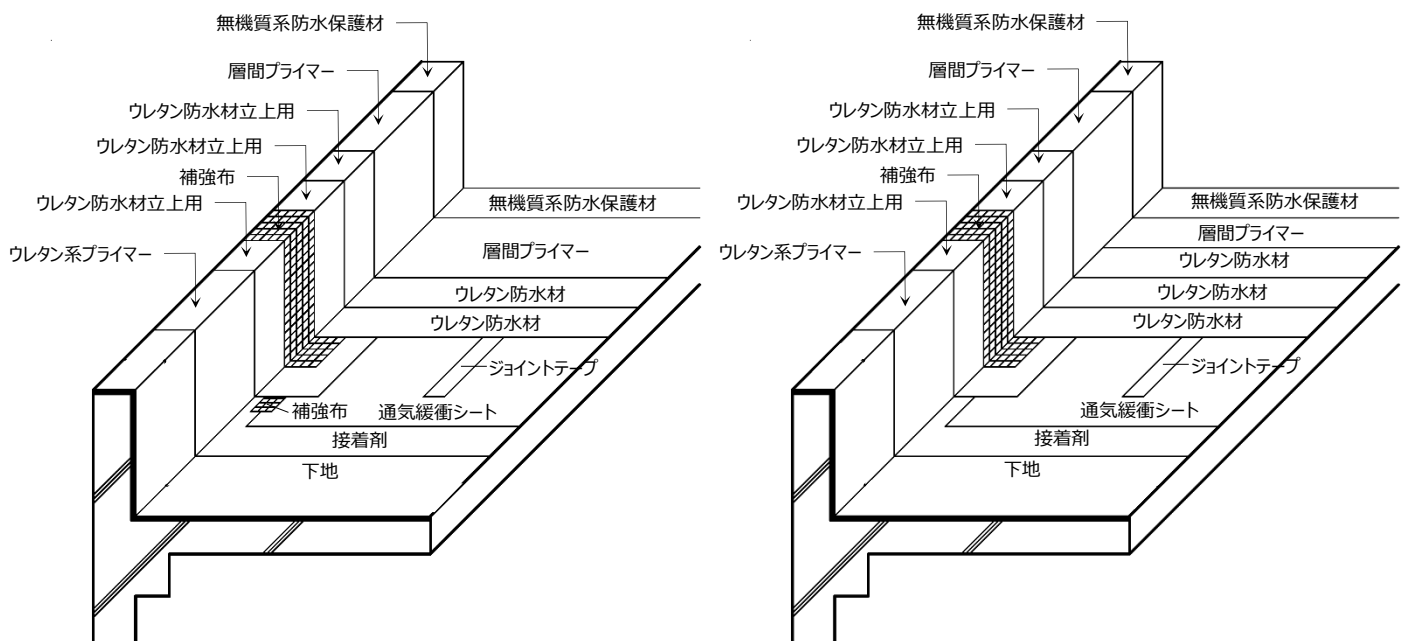
### 脱気絶縁複合防水工事

UQ-1（合成繊維不織布）			UQ-2（ポリマー改質アスファルトシート）			立上り		
工程	品名	使用量	工程	品名	使用量	工程	品名	使用量
1	ボンド K	0.2 kg	1	US プライマー C10	0.2 kg	1	US プライマー C10	0.2 kg
2	US シート A	—	2	エムイーシート	—	2	セピロンコート QV	0.5 kg
3	セピロンコート QV	1.5 kg	3	セピロンコート Q	2.0 kg	3	クロス K	1.1 m
4	セピロンコート Q	2.0 kg	4	セピロンコート Q	1.9 kg	4	セピロンコート QV	1.4 kg
5	セピロンコート Q	1.9 kg	5	US プライマー M6	0.1 kg	5	セピロンコート QV	1.4 kg
6	US プライマー M6	0.1 kg	6	HC トップ 20	1.0 kg	6	US プライマー M6	0.1 kg
7	HC トップ 20	1.0 kg	7	—	—	7	HC トップ 20	1.0 kg

使用材料名

製品名	規格	荷姿	用途・材質
①ボンドK	15 kg/缶入	缶	クロロレン系接着剤
②USプライマー-C1	17 kg/缶	缶	ウレタン系プライマー (溶剤)
②USプライマー-C10	-	-	USプライマー-C1とポルトランドセメントを1:0.5~1で混合したもの
③エムイーシート	1m×15m/巻	巻	自己粘着型通気緩衝シート
④USシートA	1.2m×50m/巻	巻	通気緩衝シート (合成繊維不織布 穴あり)
⑤テープJ	100 mm×25m 4巻入	箱	エムイーシートの端末処理用テープ
⑥MXテープ	100 mm×50m/巻	巻	エムイーシートのジョイント処理用テープ
⑦USテープ	50 mm×50m/巻	巻	USシートAのジョイント処理用テープ
⑧セピロンコートQ	主剤 : 6 kg/缶	缶	ウレタン系塗膜防水材 (平場用)
	硬化剤 : 12 kg/缶	缶	硬化物比重 : 1.3
⑨セピロンコートQV	主剤 : 6 kg/缶	缶	ウレタン系塗膜防水材 (目止め・立上り用)
	硬化剤 : 12 kg/缶	缶	硬化物比重 : 1.3
⑩クロスK	1.02m×50m/巻	巻	合成繊維補強布
⑪USプライマー-M6	主剤 : 4 kg/缶	缶	層間プライマー
	硬化剤 : 4 kg/缶	缶	
⑫HCトップ20	20 kg/缶	缶	エチレン酢酸ビニル樹脂系仕上塗料

1. 全体図



通気緩衝シート

・ポリマー改質アスファルトシート

通気緩衝シート

・合成繊維不織布

## 2.5.3 脱気絶縁複合防水（歩行用ウレタンゴム系全面修繕 2 回目以降）

材料は「機材及び工法の品質判定基準」及び  
 2.5.2 の 3 口及びこからちによる。

2.5.3 表 ウレタンゴム系塗膜防水工法・密着仕様の工程（平場）

工程	材料	使用量/㎡	工法
1	プライマー	0.2 kg	はけ塗り又はローラー塗り
2	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)1、2	0.3 kg	こて、ゴムベラ又ははけ塗り
3	補強布	1.1m	—
4	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)1、2	1.5 kg	こて、ゴムベラ又ははけ塗り
5	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)1、2	1.2 kg	こて、ゴムベラ又ははけ塗り
6	層間プライマー	0.1 kg	はけ塗り又はローラー塗り
7	無機質系防水保護塗料(注)3	1.0 kg	はけ塗り又はローラー塗り

(注) 1 工程 2、4、5 のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が 1.0 である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以上の場合にあつては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

2 ウレタンゴム系塗膜防水材は工程を増やすことができる。

3 工程 7 の無機質系防水保護塗料は、性状により工程を増やすことができる。

2.5.4 表 ウレタンゴム系塗膜防水工法・密着仕様の工程（庇、架台天端及び立上り部等）

工程	材料	使用量/㎡	工法
1	プライマー	0.2 kg	はけ塗り又はローラー塗り
2	ウレタンゴム系塗膜防水材 (立上り用) (注)1、2	0.3 kg	こて、ゴムベラ又ははけ塗り
3	補強布	1.1m	—
4	ウレタンゴム系塗膜防水材 (立上り用) (注)1、2	0.9 kg	こて、ゴムベラ又ははけ塗り
5	ウレタンゴム系塗膜防水材 (立上り用) (注)1、2	0.8 kg	こて、ゴムベラ又ははけ塗り
6	層間プライマー	0.1 kg	はけ塗り又はローラー塗り
7	無機質系防水保護塗料(注)3	1.0 kg	はけ塗り又はローラー塗り

(注) 1 工程 2、4、5 のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が 1.0 である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以上の場合にあつては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

2 ウレタンゴム系塗膜防水材は工程を増やすことができる。

3 工程 7 の無機質系防水保護塗料は、性状により工程を増やすことができる。

## 密着仕様の工程

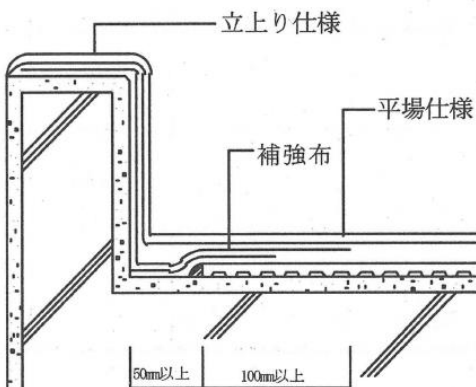
平場		
工程	品名	使用量
1	US プライマー-C10	0.2 kg
2	セピロンコート Q	0.3kg
3	セピロンクロス	1.1m
4	セピロンコート Q	2.0 kg
5	セピロンコート Q	1.6 kg
6	US プライマー-M6	0.1 kg
7	HC トップ 20	1.0 kg

庇、架台天端及び立上り等		
工程	品名	使用量
1	US プライマー-C10	0.2 kg
2	セピロンコート QV	0.5kg
3	セピロンクロス	1.1m
4	セピロンコート QV	1.1 kg
5	セピロンコート QV	1.0 kg
6	US プライマー-M6	0.1 kg
7	HC トップ 20	1.0 kg

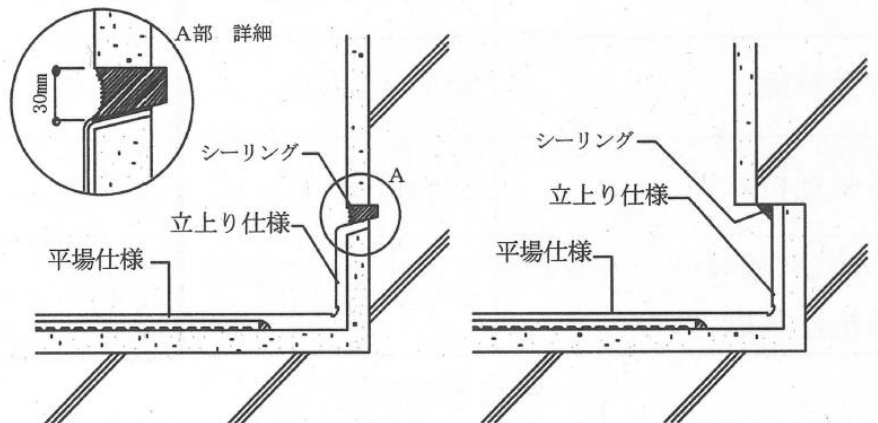
使用材料名

製品名	規格	荷姿	用途・材質
USプライマー-C1	17 kg/缶	缶	ウレタン系プライマー (溶剤)
USプライマー-C10	-	-	USプライマー-C1とポルトランドセメントを1:0.5~1で混合したもの
USプライマー-M6	主剤 : 4 kg/缶	缶	層間プライマー
	硬化剤 : 4 kg/缶	缶	
セピロンコートQ	主剤 : 6 kg/缶	缶	ウレタン系塗膜防水材 (平場用)
	硬化剤 : 12 kg/缶	缶	
セピロンコートQV	主剤 : 6 kg/缶	缶	ウレタン系塗膜防水材 (目止め・立上り用)
	硬化剤 : 12 kg/缶	缶	
クロスK	1.02m×50m/巻	巻	合成繊維補強布
クロスG	1.04m×100m/巻	巻	ガラス繊維補強布
HCトップ20	20 kg/缶	缶	エチレン酢酸ビニル樹脂系仕上塗料

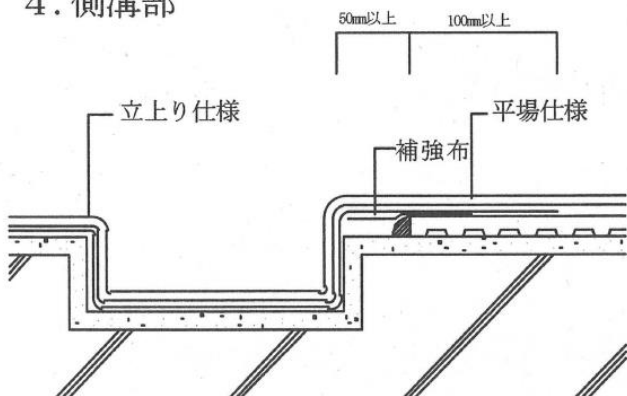
2. パラペット



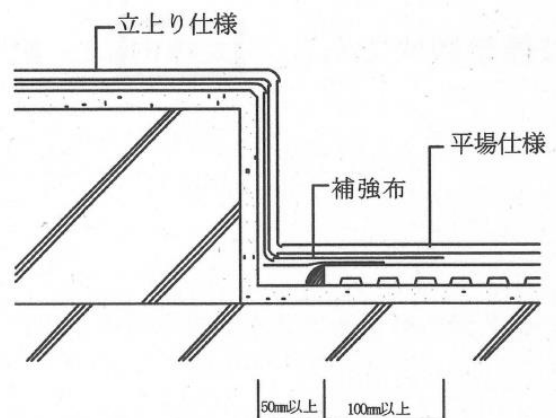
3. 壁面立上り



4. 側溝部



5. 架台まわり



## 6 節 脱気絶縁複合防水工事（非歩行用）

### 2.6.2 脱気絶縁複合防水（非歩行用改質アスファルト全面修繕 1 回目）

材料・工法は「機材及び工法の品質判定基準」による。（品質性能試験報告書の提出が必要）

2.6.1 表 脱気絶縁部（平場）の工程

工程	材料	使用量/㎡	工法
1	速乾性アスファルトプライマー	0.2 kg	はけ塗り又はローラー塗り
2	部分粘着型通気絶縁用シート(注)	-	自着層で圧着
3	改質アスファルト(砂付)ルーフィング	-	トーチバーナーで溶着又は自着層で圧着
4	仕上塗料	製造所の仕様による	はけ塗り又はローラー塗り

(注) 工程 2 は、脱気装置の取付けを含む。

2.6.2 表 密着部（平場及び立上り等）の工程

工程	材料	使用量/㎡	工法
1	速乾性アスファルトプライマー	0.2 kg	はけ塗り又はローラー塗り
2	目地補強用テープ	-	ローラー等で密着させる
3	改質アスファルト(砂付)ルーフィング	-	トーチバーナーで溶着又は自着層で圧着
4	仕上塗料	製造所の仕様による	はけ塗り又はローラー塗り

脱気絶縁部（平場）		
工程	品名	使用量
1	プライマー-AQ(又はアスファルトプライマー)	0.2 kg
2	SK ルーフ BS	-
3	メルタンキャップ 21F	-
4	仕上塗料*	

密着部（平場及び立上り等）		
工程	品名	使用量
1	プライマー-AQ(又はアスファルトプライマー)	0.2 kg
	SK ルーフ BF (テープ)	目地補強
2	メルタンキャップ 21F	-
3	仕上塗料*	

\* 仕上塗料は下記よりご選定ください。

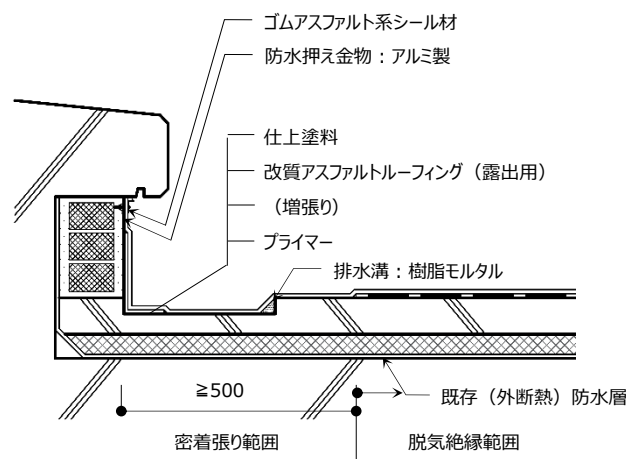
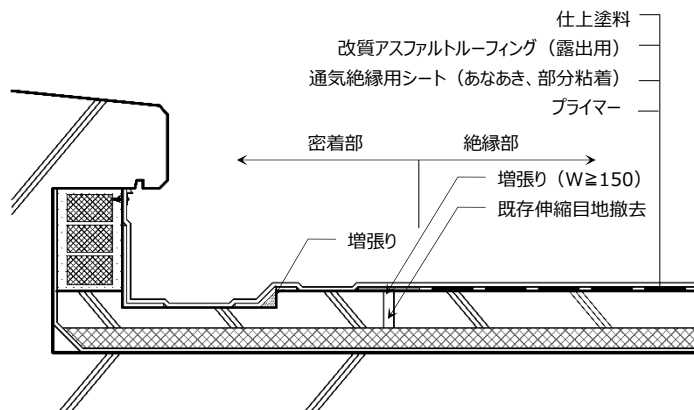
#### 【仕上塗料一覧】

製品名称	種類	塗布量の目安	塗替えの目安
プレノカラー遮熱	カラー遮熱	0.5 kg/㎡	7~9 年
サーモロックカラー M B *	暗色系カラー遮熱	0.5 kg/㎡	7~9 年
F Pクール*	飛び火抑制・遮熱	0.8 kg/㎡	10~13 年
ハイクール	高耐候性遮熱	0.5 kg/㎡	10~13 年

\* 受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

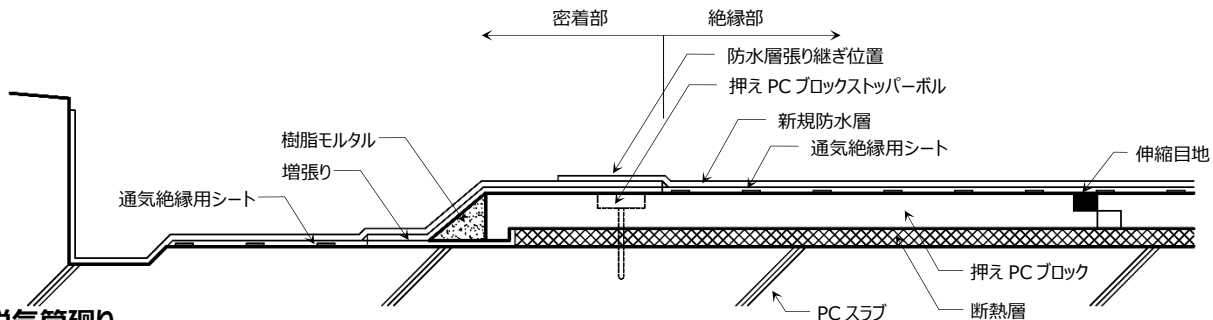
#### 1. 標準割付け図（RC造）＜平場＞

#### 2. 立上り部及びパラペット際外周部平場（密着張り範囲）

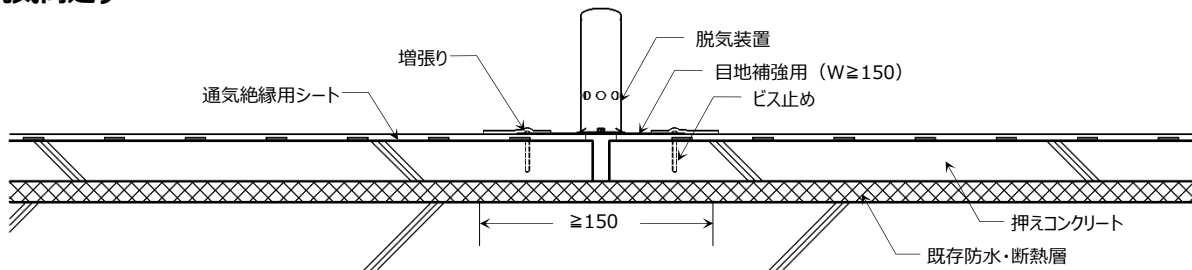




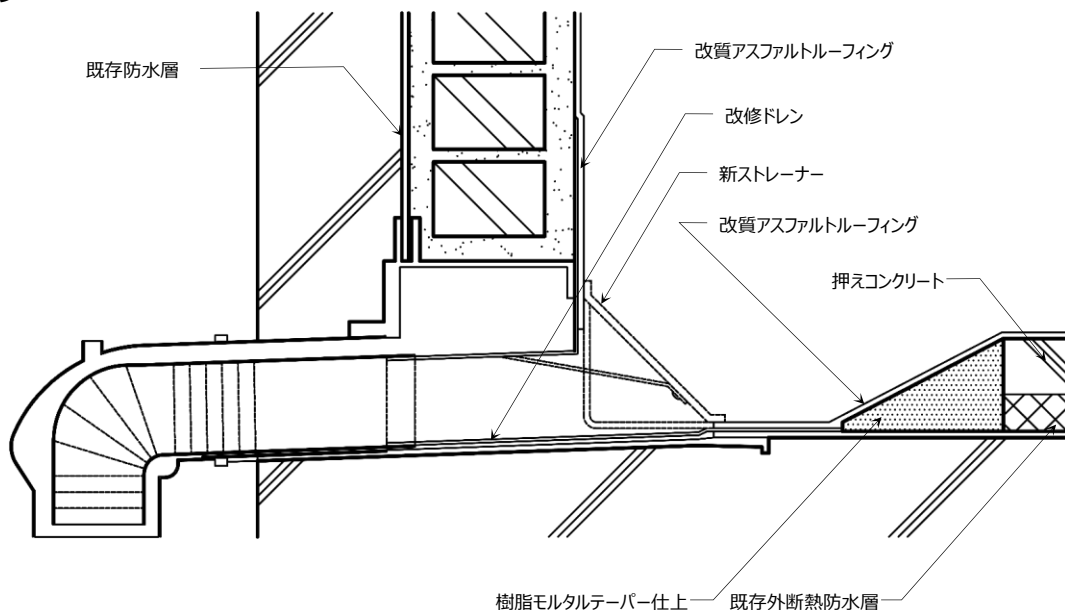
### 3. 標準割付図 (PC・排水溝側) (部分粘着型通気絶縁用シート工法)



### 4. 脱気筒廻り



### 5. 横引きドレン



#### 使用材料名

製品名	規格	荷姿	用途・材質
アスファルトプライマー	15 kg/缶入	缶	アスファルト系 (溶剤) プライマー
プライマー-AQ	16 kg/缶入	缶	アスファルト系 (水性) プライマー
SK ルーフ BF	1m×12m/巻	巻	増張り・目地補強用 改質アスファルトルーフィング
SK ルーフ BS	1m×12m/巻	巻	改質アスファルトルーフィング JIS A 6013 非露出複層用
メルタンキャップ 21F	1m×8m/巻	巻	改質アスファルトルーフィング JIS A 6013 露出単層用
カスタムコーチング S	22 kg 11 kg 330mL×24 本	-	ゴムアスファルト系シール材
プレノカラー遮熱	16.3 kg/缶入	缶	水性カラー遮熱塗料
サーモロックカラー-MB	16.3 kg/缶入	缶	水性カラー暗色系遮熱塗料 (受注生産)
F Pクール	18 kg/缶入	缶	水性カラー飛び火抑制・遮熱塗料 (受注生産)
ハイクール	16 kg/缶入	缶	水性カラー高耐候性遮熱塗料
SK ルーフ BF テープ	0.2m×12m 2 巻入	箱	増張り・目地補強用 改質アスファルトルーフィング
MT-40DS	40 mm×70 mm×2m t=2.0 mm	本	アルミ製防水押え金物 (天端用)
マルエス銅ドレン	各種規格有り	箱	改修用ドレン

## 7節 バルコニー等床防水工事

### 2.7.2 ウレタンゴム系塗膜防水工法（全面修繕 1 回目）

材料・工法は「機材及び工法の品質判定基準」による。（品質性能試験報告書の提出が必要）

2.7.1 表 ウレタンゴム系塗膜防水工法の工程

工程	材料	使用量/㎡	工法
1	プライマー	0.15～0.25 kg	はけ塗り又はローラー塗り
2	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)1	2.0 kg	こて塗り又はゴムベラ塗り
3	仕上塗料(注)2、3	0.2 kg	はけ塗り又はローラー塗り

- (注) 1 工程 2 のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が 1.0 である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以上の場合にあっては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。  
 2 工程 3 の平場部における骨材使用量は製造所の仕様による。  
 3 工程 2 の防水材及び工程 3 の仕上塗材は、性状により工程を増やすことができる。

平場 (UE-1)		
工程	品名	使用量
1	US プライマー-M4E	0.15～0.25 kg
2	セピロンコート E	1.3 kg
3	セピロンコート E	1.3 kg
4	US トップコート EX	0.2 kg

立上り (UE-1)		
工程	品名	使用量
1	US プライマー-M4E	0.15～0.25 kg
2	セピロンコート EV	1.3 kg
3	セピロンコート EV	1.3 kg
4	US トップコート EX	0.2 kg

※工程 1「US プライマー-M4E」に替えて「US プライマー-C30」とする事が出来ます。（塗布量同じ・仕様名は「UE-2」）

### 2.7.3 ウレタンゴム系塗膜防水工法（全面修繕 2 回目以降）

材料は 2.7.2 の 3 による 工法は「機材及び工法の品質判定基準」による

2.7.2 表 ウレタンゴム系塗膜防水工法 2 回目以降の工程

工程	材料	使用量/㎡	工法
1	プライマー	0.1～0.2 kg	はけ塗り又はローラー塗り
2	ウレタンゴム系塗膜防水材(注)1	1.5 kg	こて塗り又はゴムベラ塗り
3	仕上塗料(注)2、3	0.2 kg	はけ塗り又はローラー塗り

- (注) 1 工程 2 のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が 1.0 である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以上の場合にあっては、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。  
 2 工程 3 の平場部における骨材使用量は製造所の仕様による。  
 3 工程 2 の防水材及び工程 3 の仕上塗材は、性状により工程を増やすことができる。

平場		
工程	品名	使用量
1	US プライマー-M4E	0.15～0.25 kg
2	セピロンコート E	1.0 kg
3	セピロンコート E	1.0 kg
4	US トップコート EX	0.2 kg

立上り		
工程	品名	使用量
1	US プライマー-M4E	0.15～0.25 kg
2	セピロンコート EV	1.0 kg
3	セピロンコート EV	1.0 kg
4	US トップコート EX	0.2 kg

※工程 1「US プライマー-M4E」に替えて「US プライマー-C30」とする事が出来ます。（塗布量同じ・仕様名は「UE-2」）

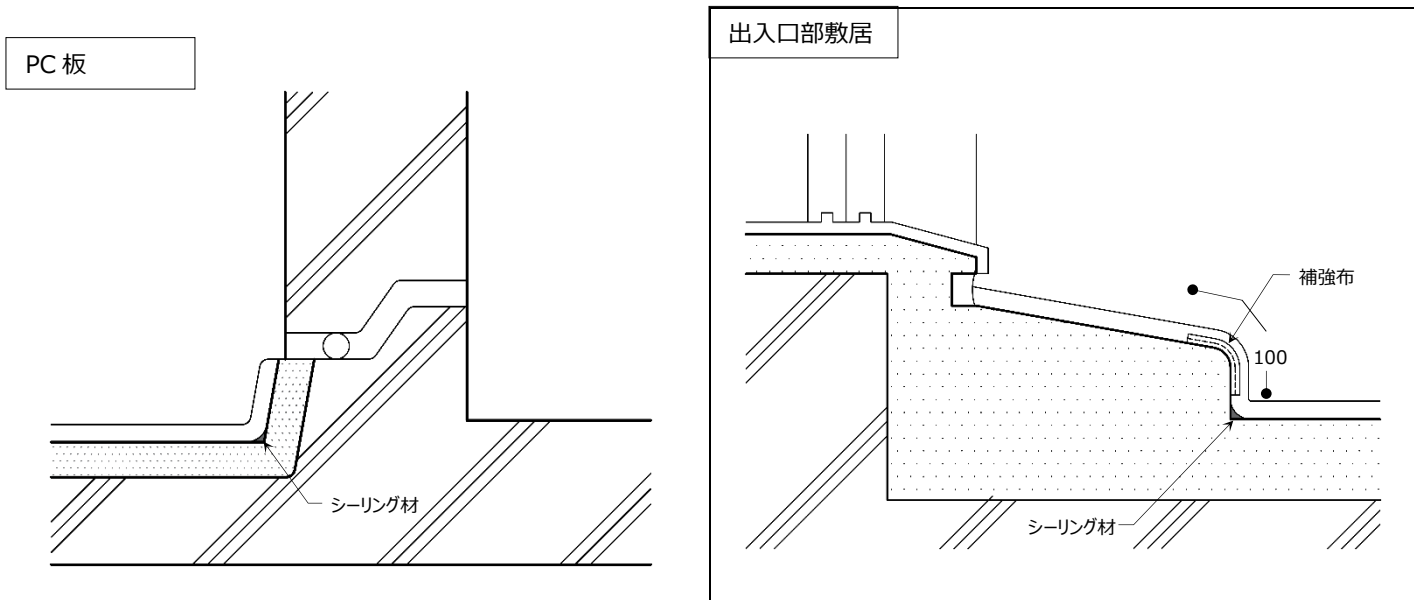
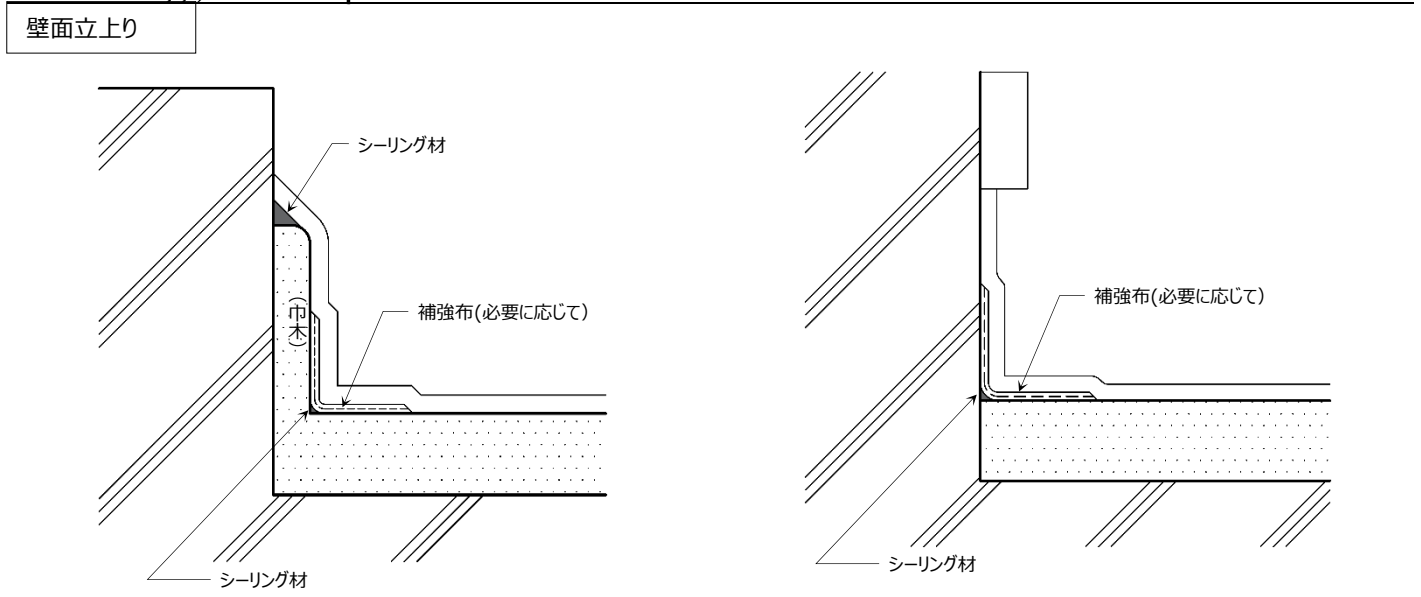
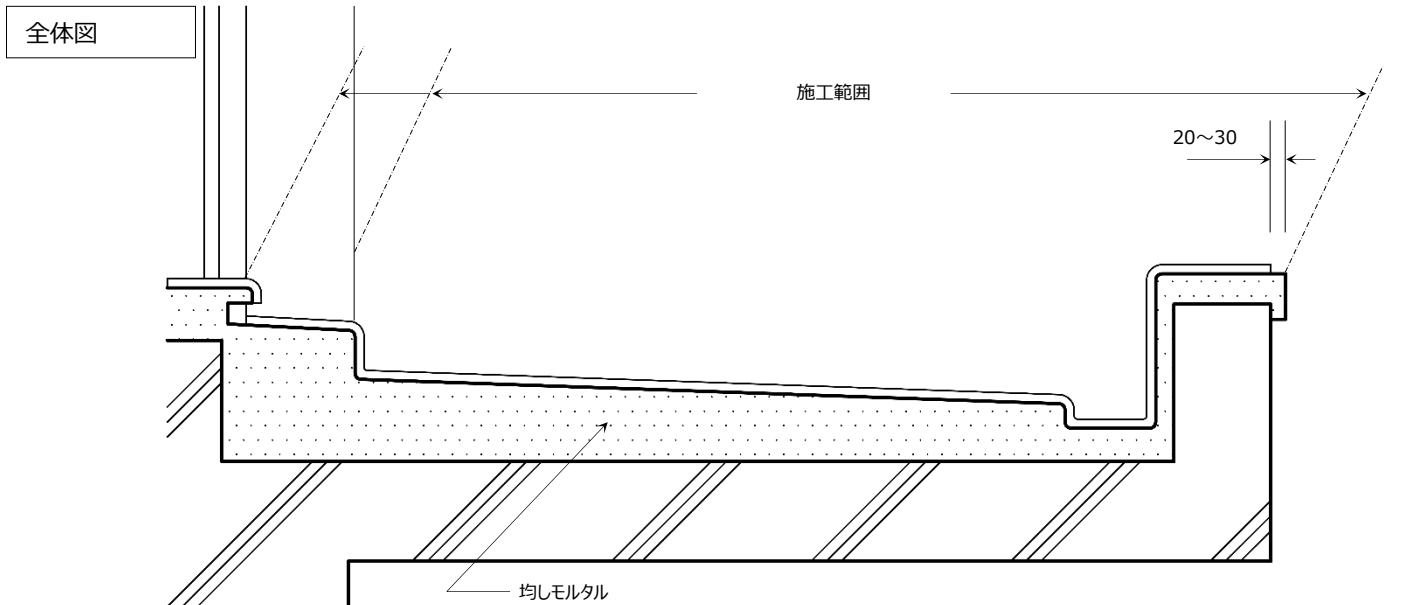
### 2.7.4 ウレタンゴム系塗膜防水工法（部分修繕）

工程は 2.7.1 表による。

既存防水層の材料がウレタンゴム系であることを確認のうえ、原則として、同一系材料を使用するものとする。

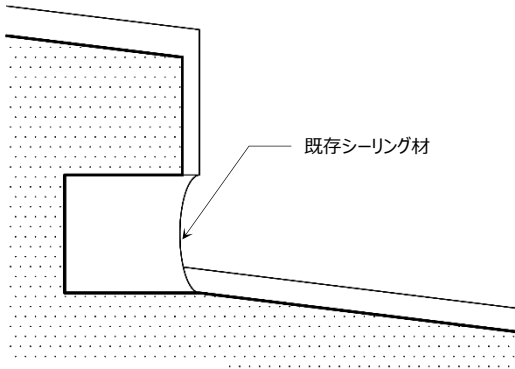


標準納まり図 (参考図)

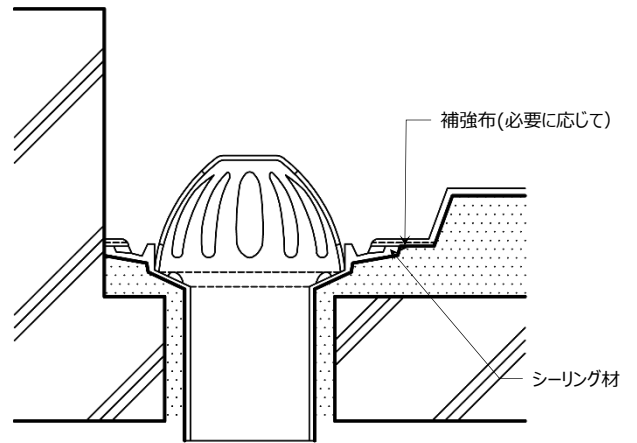


## 標準納まり図（参考図）

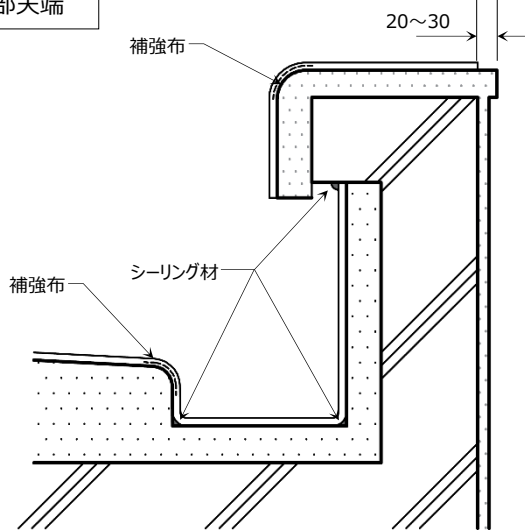
サッシ下枠



ドレン廻り

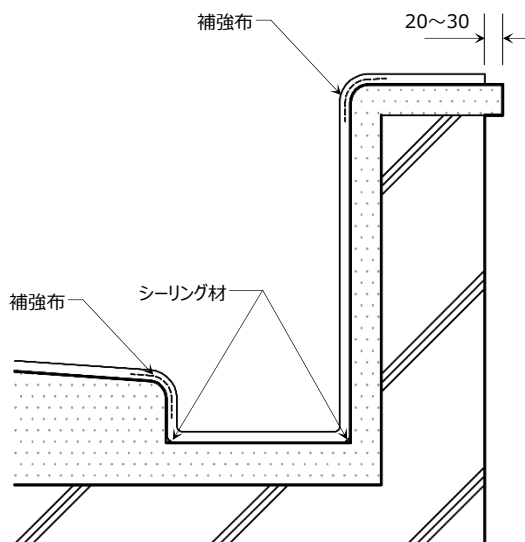
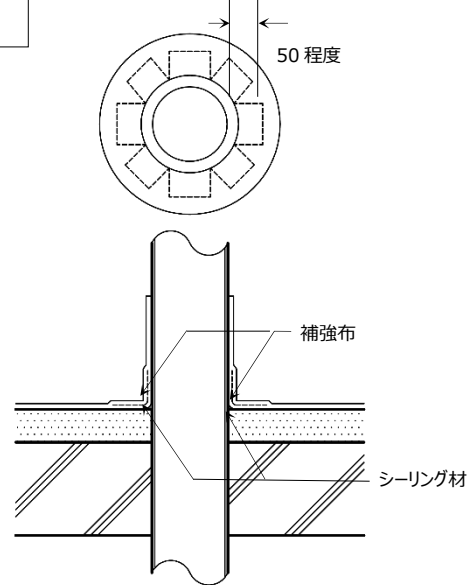


立上り部天端



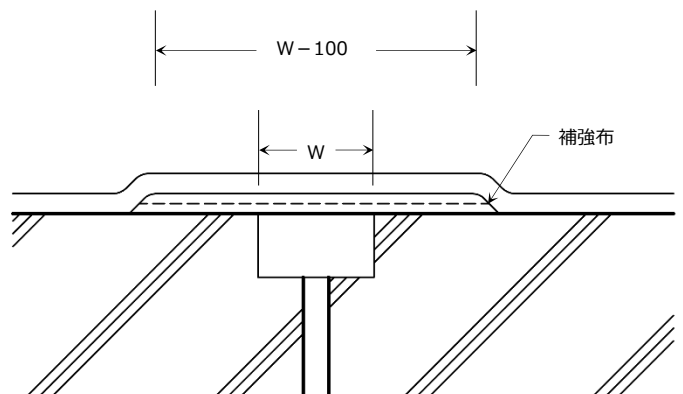
(高低差が 15 mm 以下の場合補強布を省略する)

管貫通部等



(高低差が 15 mm 以下の場合補強布を省略する)

PC 版ジョイント部



## 8節 屋上架台・庇等防水工事

### 2.8.2 ウレタンゴム系塗膜防水工法

材料は、2.7.2 の 3 イからロによる。  
 工程は、2.7.1 表による。

平場		
工程	品名	使用量
1	US プライマー-M4E	0.15～0.25 kg
2	セピロンコート E	1.3 kg
3	セピロンコート E	1.3 kg
4	US トップコート EX	0.2 kg

立上り		
工程	品名	使用量
1	US プライマー-M4E	0.15～0.25 kg
2	セピロンコート EV	1.3 kg
3	セピロンコート EV	1.3 kg
4	US トップコート EX	0.2 kg

#### 使用材料名

製品名	規格	荷姿	用途・材質
US プライマー-M4E	混和液 A : 4 kg / ポリ瓶入	瓶	環境配慮型エポキシ系プライマー
	混和液 B : 4 kg / ポリ瓶入	瓶	
	粉体 : 8 kg / 袋	袋	
セピロンコート E	主剤 : 6 kg / 缶	缶	環境配慮型ウレタン系塗膜防水材 (平場用) 硬化物比重 : 1.3
	硬化剤 : 12 kg / 缶	缶	
セピロンコート EV	主剤 : 6 kg / 缶	缶	環境配慮型ウレタン系塗膜防水材 (立上り用) 硬化物比重 : 1.3
	硬化剤 : 12 kg / 缶	缶	
クロス K	1.02m×50m / 巻	巻	合成繊維不織布
クロス G	1.04m×100m / 巻	巻	ガラス繊維
US トップコート EX	主剤 : 6 kg / 缶	缶	環境配慮型ウレタン系仕上塗料
	硬化剤 : 9 kg / 缶	缶	

粗面仕上の製品は 38 頁「トップファイラー」をご参照ください。

## 2.8.4 改質アスファルト系塗膜防水工法

材料・工法・施工は「仕様登録集」による。

2.8.1 表 改質アスファルト系塗膜防水工法の工程

工程	材料	使用量/㎡	工法
1	プライマー	製造所の仕様による	はけ塗り又はローラー塗り
2	増張り	-	-
3	改質アスファルト系塗膜防水材	0.8~1.5 kg(注)1	はけ塗り又はローラー塗り
4	補強布	-	-
5	改質アスファルト系塗膜防水材(注)2	製造所の仕様による(注)1	はけ塗り又はローラー塗り
6	仕上塗料(注)2	製造所の仕様による	はけ塗り又はローラー塗り

(注) 1 工程 3、5 の総使用量は、合わせて 2.6~3.0 kg/㎡とする。

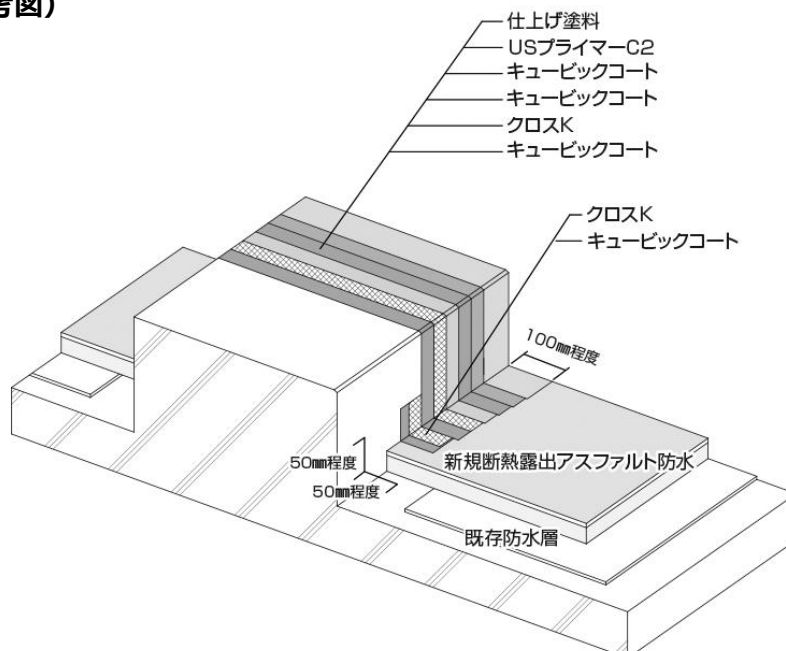
2 工程 5、6 の塗り回数及び使用量は、製造所の仕様による。

工程	品名	使用量/㎡	工法
1※1	USプライマー-M6	0.1 kg	はけ塗り又はローラー塗り
2	キュービックコート	1.0 kg	ゴムベラ塗り
3	増張り (入隅部 クロスK)	-	-
4	キュービックコート	1.0 kg	ゴムベラ塗り
5	クロスK	-	-
6	キュービックコート	1.0 kg	ゴムベラ塗り
7	キュービックコート	1.0 kg	ゴムベラ塗り
8	USプライマー-C2	0.2 kg	はけ塗り又はローラー塗り
9※2	プレノカラー遮熱	0.5 kg	はけ塗り又はローラー塗り

※1 工程 1 のUSプライマー-M6 はウレタンゴム系下地の場合に適用し、コンクリート下地、ポリマーセメント系下地及び新設断熱露出アスファルト防水下地の場合は、工程 1 を省略する。

※2 新設する断熱露出アスファルト防水の仕上塗料は、プレノカラー遮熱とする。

### 標準納まり図 (参考図)



## 1 1 節 勾配屋根改修工事

### 2.11.2 既存シングル改修工法（改質アスファルトシート防水）

材料・工法は「機材及び工法の品質判定基準」による。（品質性能試験報告書の提出が必要）

2.11.2 表 改質アスファルトシート防水（一般部）の工程

工程	材料	使用量/㎡	工法
1	アスファルト活性剤	1.2 kg (0.8 kg)(注)1	はけ塗り又はゴムベラ塗り
2	接着剤(注)2	-	はけ塗り又はクシ目バケ
	粘着材（部分粘着型シート、粘着層付テープ状シート、粘着層付レバラー材等）(注)2	-	はけ塗り、ゴムベラ塗り又は圧着
3	硬質ウレタンフォーム(注)2、3	-	-
4	自己粘着型シート	-	ローラー等で押え自着層で圧着
5	改質アスファルトシート	-	トーチバーナーで溶着（トーチ工法） 又は自着層で圧着（自着工法）
6	仕上塗料	製造所の仕様による	はけ塗り又はローラー塗り

(注) 1 工程 1 の使用量（ ）内は、「撤去方式」の場合に適用する。  
 2 工程 2 及び 3 は、断熱材を取り付ける場合に適用する。  
 3 工程 3 の硬質ウレタンフォームの厚さは特記による。

2.11.3 表 改質アスファルトシート防水（外周部）の工程

工程	材料	使用量/㎡	工法
1	アルミ製水切金物	-	粘着テープ付け、アンカープラグビス付ビス固定
2	接着剤	-	はけ塗り又はクシ目バケ
	粘着材（部分粘着型シート、粘着層付テープ状シート、粘着層付レバラー材等）	-	はけ塗り、ゴムベラ塗り又は圧着
3	硬質ウレタンフォーム(注)	-	-
4	自己粘着型シート	-	ローラー等で押え自着層で圧着
5	改質アスファルトシート	-	トーチバーナーで溶着（トーチ工法） 又は自着層で圧着（自着工法）
6	仕上塗料	製造所の仕様による	はけ塗り又はローラー塗り

(注) 工程 3 の硬質ウレタンフォームの厚さは特記による。

一般部			外周部		
1	マルエスシーラー	1.2 kg	1	アスファルトプライマー	0.2 kg
2	シングルセメント※1	1.0 kg	2	シングルセメント※1	1.0 kg
3	シェンボード※1	-	3	シェンボード※1	-
4	カスタムベース J※2	-	4	カスタムベース J※2	-
5	カスタムサンド UF	-	5	カスタムサンド UF	-
6	仕上塗料※3		6	仕上塗料※3	

※1 工程 2 及び 3 は、断熱材を取り付ける場合に適用する。  
 ※2 受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。  
 ※3 仕上塗料は 30 頁よりご選定ください。

#### 水切金物の取付けに際し

保全工事共通仕様書 74-75 頁 7.施工 □ に  
 において「両面粘着テープを張り付けた後…」とある。

#### ズレ止めについて

現場状況に応じ、ズレ止め処置を必要とする場合  
 は、監督員と協議の上決定する。

#### 付着力の試験

イ 試験は、右記の①から④の防水層別実施し、各棟全項目につき 1ヶ所以上屋根面で測定する。  
 なお、測定箇所は監督員と協議する。  
 ロ 試験は、①②③については各層間、④については断熱材と下地の接着部分で付着力を測定する。  
 ハ 付着強度は、①、②及び③は、1.8N/cm<sup>2</sup>以上、④は、3.5N/cm<sup>2</sup>以上であることを確認する。  
 ニ 既存シングル等の付着強度が所定の強度を得られない場合は、監督員と協議する。

①シングル材相互の張り重ね部  
 ②シングル材と下置き防水材の張り付け部  
 ③下置き防水材と屋根下地の張り付け部  
 ④断熱材と下地屋根の張り付け部（既存が断熱工法の場合）

【仕上塗料一覧】

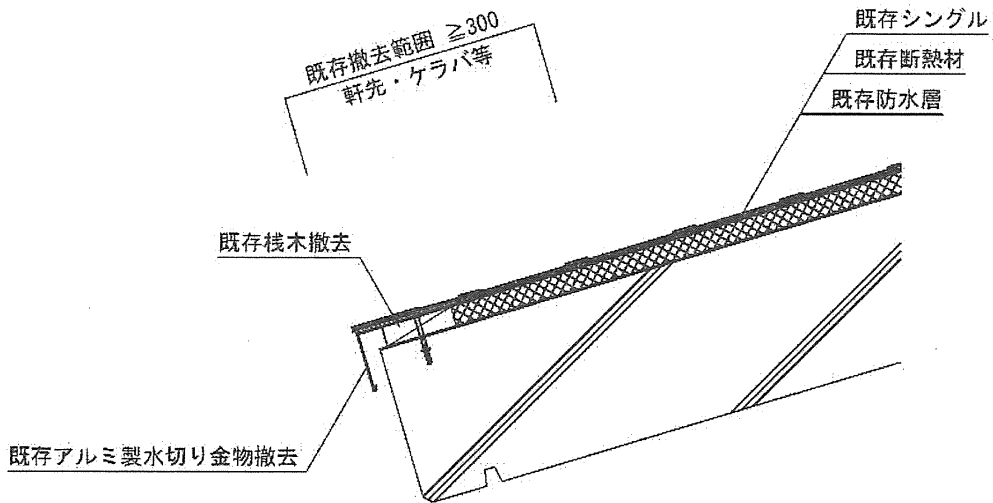
製品名称	種類	塗布量の目安	塗替えの目安
プレノカラー遮熱	カラー遮熱	0.5 kg/m <sup>2</sup>	7～9年
サーモロックカラーMB*	暗色系カラー遮熱	0.5 kg/m <sup>2</sup>	7～9年
FPクール*	飛び火抑制・遮熱	0.8 kg/m <sup>2</sup>	10～13年
ハイクール	高耐候性遮熱	0.5 kg/m <sup>2</sup>	10～13年

\* 受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

使用材料名

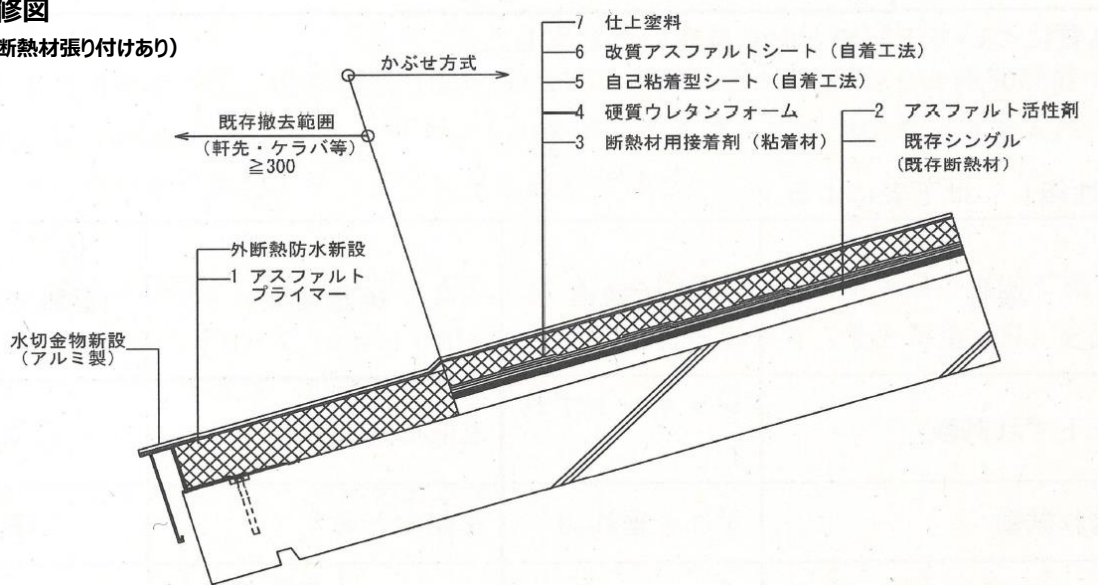
製品名	規格	荷姿	用途・材質
アスファルトプライマー	15 kg/缶入	缶	アスファルト系（溶剤）プライマー
マルエスシーラー	20 kg/缶入	缶	アスファルト系（溶剤）下地活性化材
カスタムベースJ	1m×16m/巻	巻	粘着層付改質アスファルトルーフィング JIS A 6013 非露出複層用（受注生産）
カスタムサンドUF	1m×8m/巻	巻	粘着層付改質アスファルトルーフィング JIS A 6013 露出単層用
シェンボード	605 mm×910 mm/枚	枚	硬質ウレタンフォーム断熱材
シングルセメント	18 kg/缶入	缶	アスファルト系接着剤
カスタムコーティングS	22 kg 11 kg 330mL×24本	—	ゴムアスファルト系シール材
プレノカラー遮熱	16.3 kg/缶入	缶	水性カラー遮熱塗料
サーモロックカラーMB	16.3 kg/缶入	缶	水性カラー暗色系遮熱塗料（受注生産）
FPクール	18 kg/缶入	缶	水性カラー飛び火抑制・遮熱塗料（受注生産）
ハイクール	16 kg/缶入	缶	水性カラー高耐候性遮熱塗料
テープシール両面 100	100 mm×20m 8巻入	箱	両面粘着テープ
NCD 軒先金物	2m×5本/箱	箱	軒先断熱用アルミ水切
NKD ケラバ金物	2m×5本/箱	箱	ケラバ断熱用アルミ水切
MK-87B	2m/本	本	壁用アルミ水切
ML-3015D	30 mm×15 mm×2m t=2.0 mm	本	端末用アルミ金物

## 軒先既存図



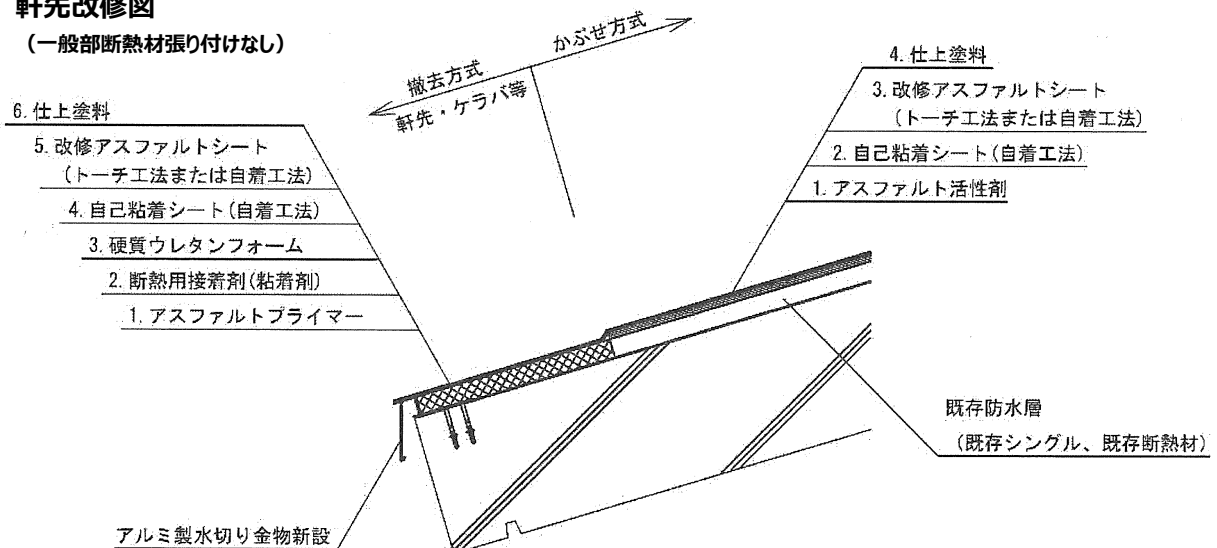
## 軒先改修図

(一般部断熱材張り付けあり)

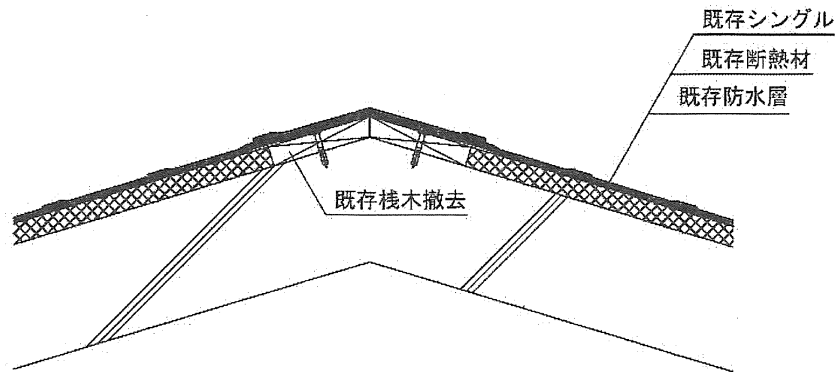


## 軒先改修図

(一般部断熱材張り付けなし)

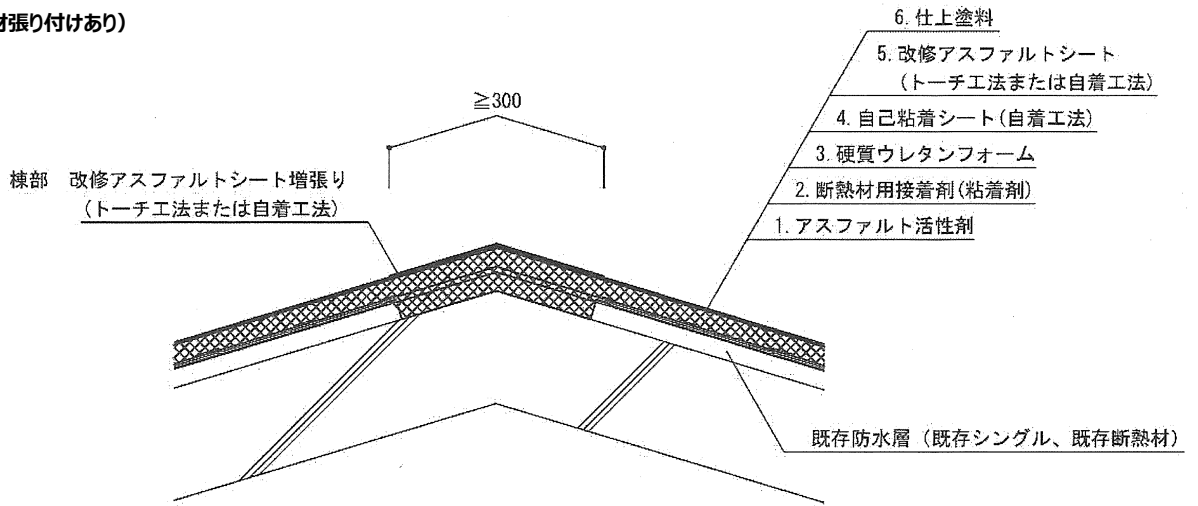


### 棟部分既存図



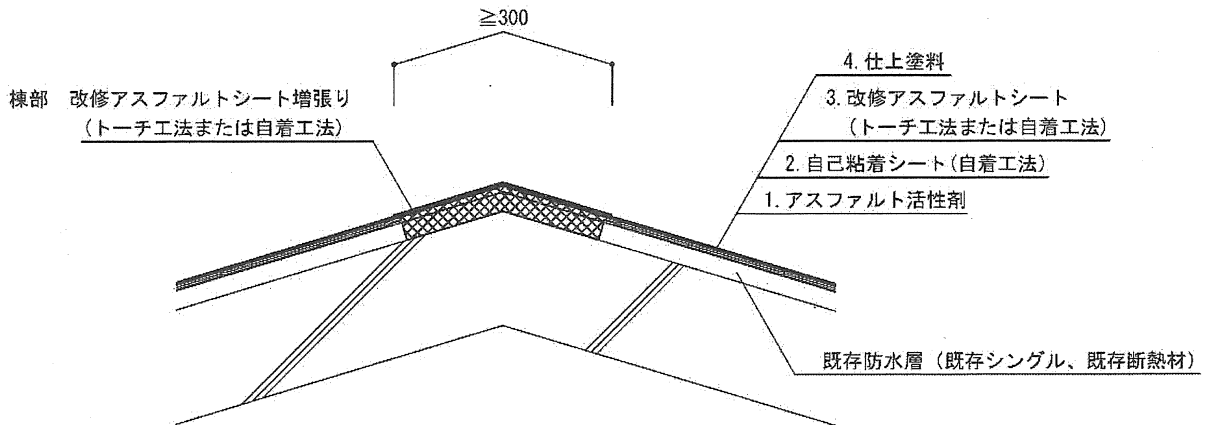
### 棟部分改修図

(一般部断熱材張り付けあり)



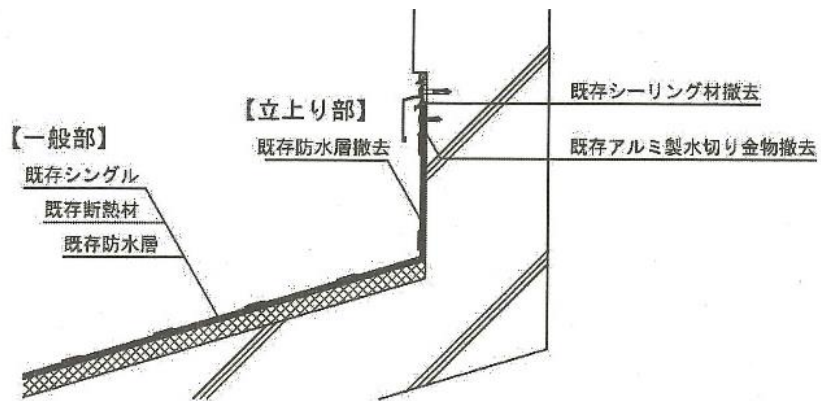
### 棟部分改修図

(一般部断熱材張り付けなし)



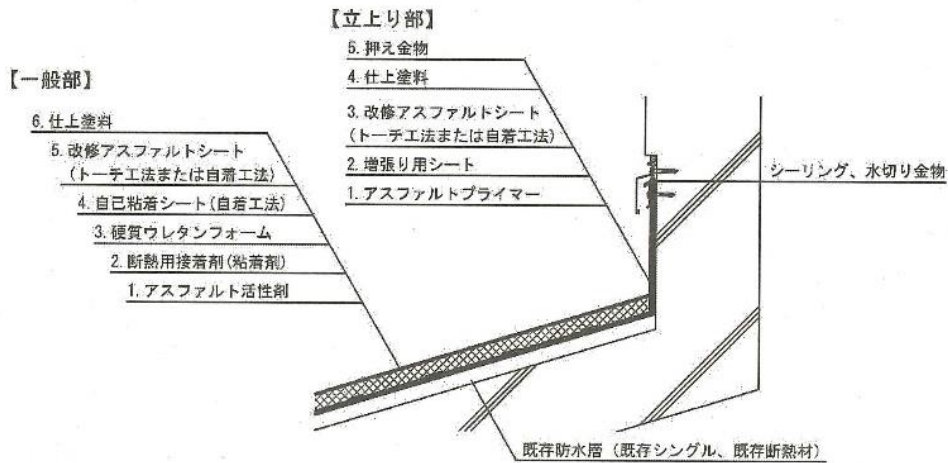


## 立上り部分既存図



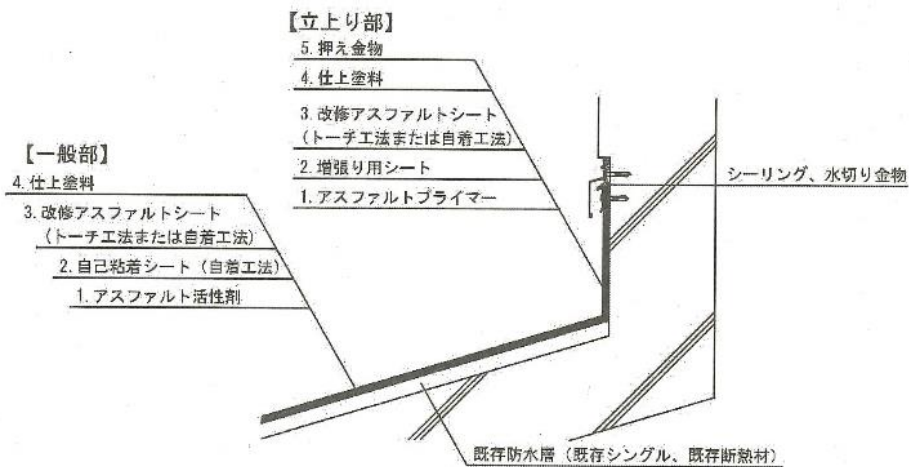
## 立上り部分改修図

(一般部断熱材張り付けあり)



## 立上り部分改修図

(一般部断熱材張り付けなし)



# 材料一覧

## プライマー・下地活性化材・接着剤

アスファルト系プライマー（溶剤）

**アスファルトプライマー**



■規格 15 kg / 缶入

アスファルト系プライマー（水性）

**プライマーAQ**



■規格 16 kg / 缶入

アスファルト系下地活性化材（溶剤）

**マルエスシーラー**



■規格 20 kg / 缶入

断熱材用接着剤

**シングルセメント**



■規格 18 kg / 缶入

## 改質アスファルトシート（トーチ工法用）

JIS A 6013 認証品

**メルタン 21A**



■規格 1m×8m  
23 kg 厚み 2.5 mm

JIS A 6013 認証品

**SK ルーフ BF**



■規格 1m×12m  
27 kg 厚み 2.0 mm

JIS A 6013 認証品

**SK ルーフ BS**



■規格 1m×12m  
33 kg 厚み 2.0 mm

JIS A 6013 認証品

**メルタンキャップ 21F**



■規格 1m×8m  
38 kg 厚み 4.0 mm

## 改質アスファルトシート（自着工法用）

JIS A 6013 認証品

**EE ルーフ BS**



■規格 1m×12m  
33 kg 厚み 2.0 mm

JIS A 6013 適合品

**カスタムベース J**



■規格 1m×16m  
27 kg 厚み 1.5 mm

受注生産

JIS A 6013 認証品

**カスタムサンド UF**




■規格 1m×8m  
37 kg 厚み 4.0 mm

## テープ類

両面粘着テープ

**テープシール両面 100**



■規格 100 mm×20m  
8 kg 8巻 / 箱

## 改質アスファルト系塗膜防水材料

**キュービックコート**



■規格 10 kg / 缶入

※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

## 仕上塗料

水性カラー遮熱塗料

**プレノカラー遮熱**



■規格 16.3 kg/缶入

水性カラー暗色系遮熱塗料

**サーモロックカラーMB**



■規格 16.3 kg/缶入  
受注生産

水性カラー飛び火抑制・遮熱塗料

**F Pクール**



■規格 18 kg/缶入  
受注生産

水性カラー高耐候性遮熱塗料

**ハイクール**

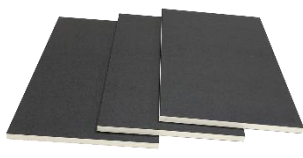


■規格 16 kg/缶入

## 断熱材

硬質ウレタンフォーム断熱材


**シェンボード**



■規格 605 mm×910 mm  
25・30・35・40・50・60※mm  
※ 受注生産

押出法ポリスチレンフォーム断熱材

**BK ボード E**

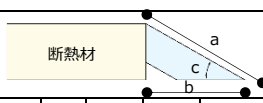


■規格 910 mm×910 mm  
25・30・35・40・50・60 mm

## キャント材

端部用キャント材

**シェンカント**




対応厚さ	a	b	c	梱包
30 mm	52 mm	43 mm	35°	40 本入
35 mm	61 mm	50 mm	35°	30 本入
40 mm	70 mm	57 mm	35°	24 本入
50 mm	87 mm	71 mm	35°	16 本入
60 mm	105	86 mm	35°	10 本入

■規格 L=910 mm

## 補助材

**I テープ**



■規格 100 mm×16m 3 巻入/箱  
受注生産

## 増張り材

トーチ工法用粘着層付改質アスファルトルーフィング

**SK ルーフ BF テープ**



■規格 0.2m×12m/巻  
2 巻入/箱

自着工法用粘着層付改質アスファルトルーフィング

**EE ルーフ BF テープ**



■規格 0.2m×12m/巻  
2 巻入/箱

## シール材

ゴムアスファルト系シール材

**カスタムコーチング S**



■規格 22・11 kg/缶入  
330mL×24 本/箱

## 脱気装置

ステンレス製脱気筒

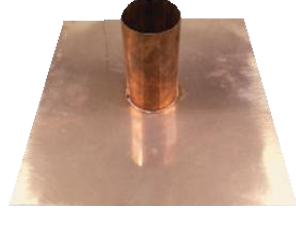
**ニューステンレスバント**



■規格 1 個入/箱

## 改修用ドレン

**マルエス銅ドレン 縦**



■寸法 365 mm×365 mm(h)150  
■板厚 本体 0.5 mm筒部 0.7 mm

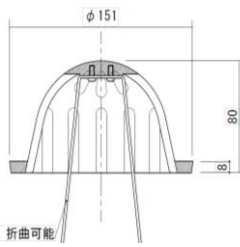
**マルエス銅ドレン 横**



■寸法 365 mm×365 mm  
ホース長さ 600 mm  
■板厚 本体 0.5 mm筒部 0.7 mm

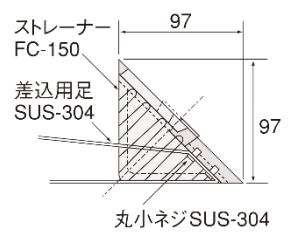
## 铸铁製ストレーナー

**ドレンキャップ 縦**



ストッパ-板 折曲可能

**ドレンキャップ 横**




ストレーナー FC-150  
差込用足 SUS-304  
丸小ネジ SUS-304

※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

## アルミ製ストレーナー


**マルエスアルミドレンキャップ<sup>®</sup>縦**



■縦・小  
適用径 30~75φ

■縦・大  
適用径 50~100φ

**マルエスアルミドレンキャップ<sup>®</sup>横**



■横・小・平  
適用径 40~65φ

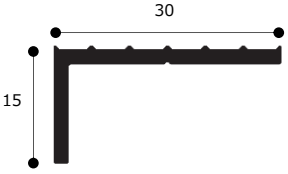
■横・小・L  
適用径 40~65φ

■横・中・自在  
適用径 50~100φ

## 金物類

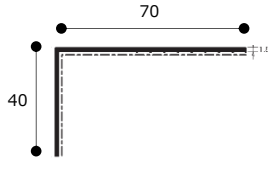
アルミ製端未用金物

**ML-3015D**



■規格 30 mm×15 mm×2m  
厚さ 2.0 mm

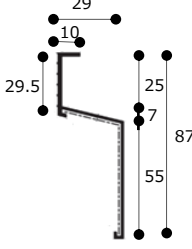
**MT-40C**



■規格 40 mm×70 mm×2m  
厚さ 1.8 mm

アルミ製壁用金物

**MK-87B**



■規格 長さ2m 厚さ1.5 mm

アルミ製断熱工法用軒先金物

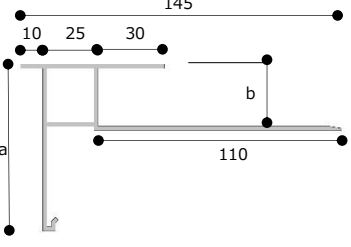
**NCD 金物 (軒先用)**

NCD-25N 厚さ: 2.0 mm  
 NCD-30N 厚さ: 2.0 mm  
 NCD-35N 厚さ: 2.0 mm  
 NCD-40N 厚さ: 2.0 mm  
 NCD-50N 厚さ: 2.0 mm

- 長さ: 2000 mm
- 色: シルバー

ブロンズ、ブラック(受注品)

- 梱包内容: 各 5 本  
(取付穴φ6.5 8箇所/本)
- ジョイント板: 5 枚
- 固定用プラグビス: 40 本
- プラグ φ6×60
- 木ネジ φ4.5×63



製品名	NCD-25N	NCD-30N	NCD-35N	NCD-40N	NCD-50N
a	75	80	85	90	100
b	28	33	38	43	53

アルミ製断熱工法用ケラバ金物

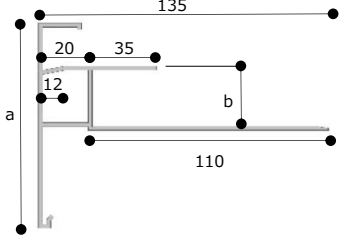
**NKD 金物 (ケラバ用)**

NKD-25N 厚さ: 2.0 mm  
 NKD-30N 厚さ: 2.0 mm  
 NKD-35N 厚さ: 2.0 mm  
 NKD-40N 厚さ: 2.0 mm  
 NKD-50N 厚さ: 2.0 mm

- 長さ: 2000 mm
- 色: シルバー

ブロンズ、ブラック(受注品)

- 梱包内容: 各 5 本  
(取付穴φ6.5 8箇所/本)
- ジョイント板: 5 枚
- 固定用プラグビス: 40 本
- プラグ φ6×60
- 木ネジ φ4.5×63



製品名	NKD-25N	NKD-30N	NKD-35N	NKD-40N	NKD-50N
a	95	100	105	110	120
b	28	33	38	43	53

# 材料一覧

## プライマー

ウレタン系プライマー

F☆☆☆☆

ウレタン系プライマー

F☆☆☆☆

ウレタン系層間プライマー

F☆☆☆☆

エポキシ系プライマー

**USプライマー-C1**



■規格 17 kg/缶入

**USプライマー-C2**



■規格 16 kg/缶入

**USプライマー-M6**



■規格 8 kg/セット  
主剤：4 kg・硬化剤：4 kg

**USプライマー-M4E**



■規格 16 kg/セット  
混和液(A:4kg・B:4kg)粉体:8 kg

## 防水材

JIS A 6021 認証品 F☆☆☆☆

JIS A 6021 認証品 F☆☆☆☆

JIS A 6021 認証品 F☆☆☆☆

JIS A 6021 認証品 F☆☆☆☆

**セピロンコートQ**



■規格 18 kg/セット  
主剤：6 kg・硬化剤：12 kg

**セピロンコートQV**



■規格 18 kg/セット  
主剤：6 kg・硬化剤：12 kg

**セピロンコートE**



■規格 18 kg/セット  
主剤：6 kg・硬化剤：12 kg

**セピロンコートEV**



■規格 18 kg/セット  
主剤：6 kg・硬化剤：12 kg

## トップコート

アクリルウレタン系トップコート F☆☆☆☆

ウレタン系トップコート (弱溶剤) F☆☆☆☆

エチレン酢酸ビニル樹脂系トップコート

**USトップコートQ**



■規格 14 kg/セット  
主剤：7 kg・硬化剤：7 kg

**USトップコートEX**



■規格 15 kg/セット  
主剤：6 kg・硬化剤：9 kg

**HCトップ 20**



■規格 20 kg/缶

## 通気緩衝シート

通気緩衝シート (合成繊維)

通気緩衝シート (改質アスファルトルーフィング)

## 補強布

合成繊維

ガラス繊維

**USシートA**



■規格 1.2m×50m

**エムイーシート**



■規格 1m×15m  
18 kg 厚み 1.0 mm

**クロス K**



■規格 1.02m×50m

**クロス G**



■規格 1.04m×50m

## 接着剤

ウレタン系接着剤

F☆☆☆☆

<b>US ボンド</b>

■規格 10 kg/セット 主剤：2 kg・硬化剤：8 kg

クロロレン系接着剤

<b>ボンド K</b>

■規格 15 kg/缶

## テープ類

US シート A 用ジョイントテープ

<b>US テープ</b>

■規格 50 mm×50m

EM シート用ジョイントテープ

<b>MX テープ</b>


■規格 100 mm×50m

EM シート用端末ジョイントテープ

<b>テープ J</b>

■規格 100 mm×25m 4 巻/箱

伸縮目地用テープ

<b>メジテープ</b>

■規格 100 mm×16m 厚み 1.0 mm <b>受注生産</b>

※受注生産 納期や条件については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

## 副資材

ステンレス製脱気装置

<b>脱気太郎</b>

■規格 2 個入り/箱

トップコート Q 用シンナー

<b>トップコートシンナー</b>

■規格 14 kg/缶

トップコート用粗面仕上材

<b>トップフィルター</b>

■規格 0.42 kg/袋

セピロンコート Q、E 用だれ止め剤

<b>だれ止め剤</b>

■規格 1 kg/缶

プライマー C10、US ボンド用硬化促進剤

<b>硬化促進剤 V</b>

■規格 200 g/缶

セピロンコート Q 用硬化促進剤

<b>硬化促進剤 VI</b>

■規格 1 kg/缶

環境対応型希釈剤

<b>NS ソルベント</b>

■規格 18L/缶







総合防水材料メーカー



# 日新工業株式会社

0120-86-2424

- 本社／営業統括部 〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4 .....TEL.(03)3882-2571
- |                        |                       |                       |
|------------------------|-----------------------|-----------------------|
| ■関東 TEL.(03)3882-2641  | ■九州 TEL.(092)451-1095 | ■広島 TEL.(082)541-5033 |
| ■大阪 TEL.(06)6263-7711  | ■札幌 TEL.(011)215-1034 | ■横浜 TEL.(045)316-7885 |
| ■名古屋 TEL.(052)933-4761 | ■仙台 TEL.(022)393-7209 | ■工場 埼玉・山形             |